

アジアの友

The Asia-no Tomo

8-9

AUGUST-SEPTEMBER

2012

<Special Interview>

宮下偉路氏

ープライマリー・ケアの普及と向上のためにー



サンドクロック&ABK ジョイントコンサート

2012 サンドクロック & ABK
ジョイントコンサート

2012年7月20日



アジア文化会館（ABK）ではアコースティックユニット・サンドクロックとABK 関係者によるジョイントコンサートを開催しました。ABK 在館生の歌や演奏の終了後に登場したABK 出身のタイ人ミュージシャン アドゥーンさんは娘の玉子ちゃんと心温まる歌と演奏を披露。最後はメジャーデビューを控えたサンドクロックの2人が、美しくも迫力のある歌声で来場者を魅了しました。



ABK 新校舎建設 進捗状況

基礎工事の準備中。自治体の認可を待つ9月中の着工予定です。



月刊 アジアの友

2012年8－9月号 第498号

目次

	巻頭	
2	<Special Interview> 宮下偉路氏	プライマリー・ケアの普及と向上のために
	情報	
12	数字で見る台湾における日本留学事情	
	レポート	
18	TNI（泰日工業大学） 穂積五一先生 ソンマイ・フントラクーン先生 記念像テープカット式開催	
	私の意見・私の体験	
20	「日本で最も難しいことは」 レズワン A ラスル（バングラデシュ）	
	お知らせ	
22	・田井重治さんを偲ぶ会のご案内 ・「故田井（重治）さんの思い出」の文集発刊で、原稿募集	
23	イベント&フェスティバル	「福岡国際映画祭」のご案内他
25	知友会通信	奨学金情報、イベント情報
26	MEMBERS	ご入会、ご寄付のご報告（2012年6月、7月）
27	募金途中報告	ABK 同窓生募金（2012年7月31日現在）

<表紙> 荒川区の「外国人のための着付け教室&盆踊り」（9/1 荒川総合スポーツセンター）に参加した ABK の学生達 photo by Ohara

Special Interview

プライマリー・ケアの普及と向上のために

宮下 趙偉 路

**Mr. Hiromichi
MIYASHITA**



宮下偉路（趙偉路：在米）さんは、中国で中医学の学位を修め、中醫師として数年間を過ごした後1989年に来日、ABK日本語コース等で日本語を学び東大の大学院に進学する。しかし中国の医師免許では日本で臨床が行えず、大学院を中退し改めて信州大学医学部に入学、日本の医師免許を取得する。その後は佐久総合病院、下伊那厚生病院で地域医療に従事するも、さらなる経験と知識を求めて渡米。現在はアメリカで家庭医学専門医として活躍する。年齢や性別、専門科にとらわれずあらゆる患者を診療する家庭医療＝プライマリ・ケアを極めるために、紆余曲折を経ながらも着実に前進を続けてきた宮下さんに日本留学から今までを、当協会小木曾理事長を交え振り返っていただいた。

中国から日本留学

編集部 留学を考えた理由を教えてください。

宮下 僕は上海中医薬大学を卒業して、4年半ほど仕事をしていたのですが、その先への展望が持てませんでした。ですから一番の理由はとにかく一度海外へ出て現状を打開したかったということですね。自分がやりたいこと、考えていること、言いたいことが言える開放的な環境に飛び込んで思っていることを実現してみたかったのです。

編集部 「中医学」⁽¹⁾ という学問には、専門はないのでしょうか。

宮下 専門はありますが、西洋医学と同じように、一通り勉強し、そして卒業したら自分がやりたいこと… 内科、婦人科、小児科、鍼灸やマッサージなどの専門分野に進みます。僕は内科に進みました。

編集部 留学先に日本を選んだのはなぜですか。

宮下 日本はもちろん、外国との繋がりはいくらもなかったのですが、折りよく当時、中曽根首相が留学生10万人計画という政策を打ち出して、比較的簡単に日本に留学できるようになったのです。当時日本に留学するには、保証人が必要で、もちろん日本には誰も知り合いはいなかったのですが、それも日本語学校が手配してく

れました。そうして無事日本語学校への入学が決まり、1988年に来日しました。

編集部 日本語学校に入って、問題があったそうですが？

宮下 僕は東京・台東区の日本語学校に入学したのですが、日本語学校修了後は大学か大学院に入りたいと思っており、そのことを先生に相談したら、進学するのならABK日本語コースがいいのではと勧めてくれたんです。僕はすぐにABKに移りたかったのですが、学校が身元保証を出していることもあり、途中で生徒が他校に移ってしまうといろいろな問題がでるわけです。ですから転校は認めてもらえませんでした。それで、いろいろと方法を探していたのですが、ある時知人から、お金を出せば保証人をしてくれる人がいる、という話を聞き、僕はどうしても大学に行きたかったので、お金を払ってお願いすることにしました。ところが、それは名義貸しというもので、お金だけとって、実際は保証人はしてくれないということがわかり、かなりもめることになりました。結局お金はなん

* 1 <中医学>

中医学とは、中国の伝統医学で、中医薬学の理論と臨床治療方法を集大成した総合医学。五臓六腑を中心とする理論によって病気の原因を追求し、陰陽学・五行学、薬草学、鍼灸、あんま、気功といった方法を用い、人体の持つ生命力（防御力や抵抗力、免疫力）を最大限に引き出し、正常な状態に導くことで病気の根本的な治療を行う。中国では、この中医学を専門に勉強する医科大学があり、この医科大学課程の修了者を中医師と呼ぶ。



小木曾アジア学生文化協会理事長と

とか取り戻せたのですが、そうしたゴタゴタもありました。

編集部 ABKに来られたのはその後のことですね。

宮下 そうです。後日その話を聞いた同級生が日本語の先生に相談をしてくれたのですが先生はとても親切な方で、そういうことなら私の主人に保証人になってもらいましょうと言ってくれたんです。そしてその後、保証人制度が無くなるまで、ずっと僕の保証人になっていただきました。また、先生御夫婦には僕が結婚する際は仲人にもなっていただきましたし、今でも連絡を取り合っています。そうしたことがあって、晴れてABKに移ることが出来たんです。

小木曾 その時あなたは既に日本語能力試験の1級をとっていて、当時のABKではそんなにレベルの高い人を受入れた経験はなかったので、困りました。

宮下 小木曾さんは僕を追い出そうとしていたんです(笑)。来なくていいと。いろい

ろな大学に電話をしてはそこに行けと言う。僕はABKのような信頼の置ける日本語学校で勉強したかったんです。

小木曾 この人は諦めないで、4回か5回来たんです。それで、そこまで言うのだったらと受入れたんですね。その後は東大の大学院に入ったと記憶しています。

宮下 最初は東大の研究生になり、その後医学部の大学院に進学して基

礎研究をしました。大学院には研究生時代を含めて2年半程いました。その間は新星学寮(ABKの母体となった学生寮で現在も本郷にある)に住んでいました。

編集部 大学院は卒業せずに止めてしまったということですが。

宮下 僕はずっと臨床をやりたいと思っていましたが、日本の医師免許がありませんから、大学院では基礎研究しかできませんでした。当時の厚生省にも問い合わせましたが、日本の場合、日本の大学の医学部を卒業しない限り、医師免許の国家試験を受けることはできないということでした。

編集部 それで信州大学医学部に入学し直されたんですね。

宮下 1年生から入り直して6年間学部生をやり、卒業後国家試験を受けて日本の医師免許を取りました。

編集部 ご専門は内科ですか？

宮下 そうです。それはその後アメリカに行く理由と繋がるんですが、僕はプライマ

リー・ケア⁽²⁾をやりました。

プライマリー・ケア追求のため

編集部 卒業後は長野の佐久総合病院⁽³⁾に勤務されましたね。

宮下 なぜ佐久総合病院を選んだのかというと、プライマリー・ケアに力を入れていたからです。大学ではなかなかプライマリー・ケアは学べません。それに僕は日本の医局制度には馴染めませんでした。

小木曾 当時若月俊一先生はまだいらっしゃったのですか？

宮下 はい、僕はお会いしました。若月先生は必ず研修医一人一人とお話しをするんですね。僕は一緒に写真を撮って、色紙もいただきました（笑）。

編集部 佐久総合病院にはどのくらいいましたか。

宮下 2年間研修をしました。その後、佐久総合病院と同じJA 長野厚生連系列の病院である下伊那厚生病院で医師が足りないということで、3か月間行ってくれないかという話をいただいたんです。僕は佐久総合病院が好きですし、院長に頼まれて断るわけにはいかないということで行ったわけですが、結局行ってみたら楽しくて、1年9か月そこにいました（笑）。下伊那厚生病院は本当に小さな病院で、いろいろなことをすることが出来たんで

す。良い人間関係もできて、患者さんとは僕が病院を離れてからもやり取りがありますし、本当に行って良かったと思っています。一方で、幅広く様々な患者さんに接するうちに、もっと勉強したいという思いが強くなっていました。

編集部 再び勉学に対する意欲が沸いてきたということですが、なぜ渡米だったのでしょうか。

宮下 僕が追求したいのがプライマリー・ケア、わかりやすく言うと家庭医療なんです。これは、患者の臓器、年齢、性別も関係なく、どのような病気でも診療できるというものです。しかしそういった専門は日本にはまだありません。それで、アメリカということになったんです。アメリカでは家庭医学は学会としては2番目に大きな学会で、会員は10万人もいます。

編集部 プライマリー・ケアという言葉はよく聞きますが、家庭医という概念は日本にはありませんね。

*2<プライマリ・ケア>

国民のあらゆる健康上の問題、疾病に対し、総合的・継続的、そして全人的に対応する地域の保健医療福祉機能。プライマリー・ケア医（かかりつけ医、家庭医）は、診療科目を限らない総合性を持ち、地域住民がかかえるあらゆる健康上の症状を診察し、適正な処置または適切な専門科病院を紹介することで、地域住民の健康問題を解決する。日本ではまだ家庭医は専門として確立されておらず、開業医がその役割の大半を担っている。アメリカでは、家庭医は専門医科として確立されており、また、地域連携、大学病院、大病院との連携等、しっかりした制度が確立されている。

宮下 アメリカは国土が広くて、小さな町に行くと医師が1人、2人しかいません。ですから一人の医師が赤ちゃんからお爺さんお婆さんまで家族全員を診るわけです。我々はお産もやるんですよ。ですから「家庭医」という名前が出てきたわけですね。

編集部 一般の人から見たら、町にそういう先生がいたらとても心強いですね。

宮下 アメリカでは、自分のかかりつけ医＝主治医が必ずいて、何かあったらその主治医にまず診てもらいます。そして主治医の手に負えない場合、もっと専門の医師に診てもらおうという場合は適当な病院やドクターを紹介するわけですね。そこでの治療が終わったらまた主治医のもとに戻ってくるといふ、そういう継続的なケアがあるわけです。

編集部 日本では、個人病院では医療設備が足りないということで、患者さんが大病院に行ってしまうというケースがずいぶん

あります。

宮下 日本は開業医と大学病院や大病院に勤めている勤務医が分断されているからそうなるんです。一度開業してしまうと、大学病院、あるいは大きな病院には出入りできませんし、その設備も使えません。アメリカの場合は開業しているプライマリー・ケアの医師であっても、自分の患者さんが入院すれば、その病院に行って患者さんの診察ができます。そしてその病院の設備を使ったり、他の専門の先生と話しをしたりして勉強もできるわけです。ですから、アメリカの場合、開業医にかかったから、設備や知識がなくて困るということはありません。

編集部 何千万円もかけて個人が医療機器を購入する必要はないということですね。

宮下 信州大学の僕の同級生でも親が開業医という人が1/3ほどいますが、なぜかという親がたくさん投資をしますから引

き継いでもらわないと困るわけです。アメリカはそういう必要はありません。近くの病院に行けば設備は使えるわけです。ですから、個々が持つ必要はまったくないわけです。それに仮にCTやMRIを持っていたとしても、結果を読む人がいなければ使い物になりません。個人病院ではそのために放射線科の医師を雇うわけにはいきませんからね。

*** 3 <佐久総合病院>**

佐久総合病院は地域医療の実践を看板にかけ、昭和19年に開院。以来長野県の南佐久を拠点に医療・保健活動を展開している。佐久総合病院の医療活動は、昭和20年3月外科医長として赴任してきた故若月俊一氏が、その生涯にわたる実践を通じて形作ったもので、「農民とともに」を基本理念に積極的な地域医療活動を展開している。同院は医療関係者から「農村医療・地域医療のメッカ」と評され、プライマリヘルスケア、特に農村の健康管理活動や在宅ケアに力を注いでいる。

また救命救急センターを中心に、24時間の診療体制の治療を行っており、平成17年には信州ドクターヘリが配備、長野県全ての市町村を対象に運航が開始されている。821床。

小木曾 日本の医師の場合は出身大学との関係が濃いわけですが、アメリカの場合は関係ないのですか？

宮下 むしろアメリカの病院の場合、いろいろな人間を意識的に混ぜるようにしています。人種も出身大学も様々な所から選びます。メディカルスクールの学生もただ成績が良いというだけで入学させる

ようなことはしません。どんな人間が医師として相応しいか、どういう人を医学生にすれば良いのか。そういう議論を常にしているんです。

再び語学からのスタート

編集部 ではアメリカ行きを決めた時のお話を聞かせてください。まず英語についてはどうされたのでしょうか。

宮下 下伊那厚生病院を辞めてから、1年半ほどアメリカに英語留学に行ったんです。半年間語学学校に通った後、普通のアメリカ人とも勉強をしたいと思い、1年間、地域の税金で運営されているコミュニティーカレッジ⁽⁴⁾ というところに行きました。僕はここで、日本で言うところの国語にあたる“English”のクラスをとったのですが、学校には10代の人から定年退職している人まで、いろいろな人が学びに来ていて、とても楽しく有意義な経験ができました。僕



宮下さんが受講したアメリカのプログラムを紹介するウェブサイト。写真左端が宮下さん

はここでアメリカの教育に対する理解が深まったと思っています。

僕は最初からアメリカに行きたいとか、信州大学に入りたいとは思っていなかったのですが、自分がやりたいと思う方向に向かっていったらその都度課題が出てきて、それを乗り越えるたびに少しずつ的が絞られてきた感じです。

小木曾 その後はどこかの病院に入られたのですか。

宮下 語学留学後は一度日本に戻り、4年間アルバイトをしながらアメリカの医師国家試験の勉強をしました。そして試験合格後、再び渡米し研修医としてペンシルバニア州のピッツバーグ大学附属病院に勤めました。そこで3年間研修を受けて、アメリカの医師免許をとり、専門医試験にも受かって今はアメリカの家庭医学専門医になっています。

編集部 アメリカの医師免許取得は日本に比べて厳しいのでしょうか。

宮下 何倍も厳しいですね。今回、今まで
の仕事を辞めて、別の州に移って働くこと
になっているのですが、アメリカの場合は
州ごとに医師免許が違うんです。僕は4か
月前に、新しい職場のあるマサチューセッ
ツ州の免許を申請したわけですが、今回日
本に一時帰国してすぐ「免許の発行には面
接が必要なので、1週間後に来い」というメ
ールが来たんです。僕は日本に戻ってきたば
かりですし、なぜもっと早く言ってくれな
いのか、もう少し待ってほしいというメ
ールをしたのですが、認めてもらえず、結局
またアメリカにとんぼ返りすることになっ
てしまいました。アメリカの免許交付は相
対的に厳しいのですが、マサチューセッ
ツ州は世界一と言われているマサチューセ
ツ総合病院というのがあるところで、免許
の発行についてはアメリカの中でもトップ
レベルの厳しいところなんです。免許を与
えるに相応しい人間か、書類だけではなく
て、人物を見て判断するんですね。ですか
らいくら成績が良くても資格はもらえない。
それほど厳しいんです。

*** 4 <コミュニティー・カレッジ>**

公立2年制大学で、地域住民を対象に高等教育、生涯教育
の場として設けられている。主に大学編入・アカデミック
コースと職業訓練・専門教育のコースがあり、編入コース
では、2年間の一般教養課程を修了し準学士号を取った後
で、大学の3年次に編入をする。入学は最低の基準を満た
せばよく、学費も安いので、アメリカ人だけでなく留学生
からの人気も高く、コミュニティー・カレッジを経由して
4年制大学に進学する留学生も多い。

編集部 では通常アメリカで医師免許を取
る場合、どのような道を歩むのですか。

宮下 アメリカの場合は医学部ではなく、
メディカルスクールというところで学びま
すが、ここは高校を卒業してすぐには入れ
ません。大学院と同じで、まず4年制大学
に行って学士の学位をとってからでないと
入れないんです。最低限要求される学問の
単位は必要になりますが、大学での専攻は
生物でも物理でも工学でも、文系でもかま
いません。ですから学生の中には博士号や
修士号を持っている人もいますし、社会人
を経験してから、やはり医師になりたいと
言ってくる人も大勢いるわけです。

ただ、このメディカルスクールを卒業し
てもすぐ医師免許をもらえるわけではあり
ません。卒業後、トレーニング免許をもらい、
トレーニングプログラムを数年間受けて修
了すること、その間に行われる4つの試験
に全て合格して初めて医師免許がもらえる
わけです。また、僕は家庭医という専門医
ですが、専門医資格をとるには更に専門医
試験に合格しなければなりません。ですか

ら、医師になれるのは早くても30
代半ばということになります。

編集部 学生である期間が長期に
なるわけですが、みなさん学費や
生活費はどのように工面している
のでしょうか。

宮下 政府や民間のローンがあっ
て、メディカルスクールの学生は
ほぼ全員こうしたローンを組んで

います。そして医師になって給料がもらえるようになったら返済します。もちろん優秀な人であれば返済の必要がない奨学金をもらうこともできます。例えばマイクロソフト会長のビル・ゲイツが自らの資産を投資した財団（ビル＆メリンダ・ゲイツ財団）は有名ですが、こういった財団の奨学金が多数あります。アメリカには儲かったものは社会に還元するという思想がありますからね。ですから、お金がなくても努力をすれば医師になれるということです。

アメリカの良さ…日本は？

編集部 アメリカの良さというのはやはり“フェア”ということでしょうか。

宮下 100%、ということはないと思いますが、かなりフェアだと思いますね。本当に能力があって努力さえすればそれなりにチャンスはあります。例えば、先ほどお話ししたコミュニティーカレッジの場合、地域住民であれば、ただみたいな授業料で通えるわけですが、そこでとった単位の一部は大学編入の際に認められます。そうすると本当に安いお金で大学を卒業することができるのです。僕が通っていた時には日本人もいて、彼女はそこで単位をためてからUCLAに編入しました。もちろん大学によっ



て、コミュニティーカレッジでの単位は全て「A」でなければならないとか、条件は楽ではありませんが、努力をすればお金がなくても有名大学を卒業することができる、そういうチャンスが誰にでもあるということです。

編集部 お話をうかがっていると、お子様の教育はアメリカで、ということになりますね。

宮下 基本はそうなりますが、僕は子供たちには日本とアメリカ、それぞれの国について理解してもらいたいと思っているんです。実は子供たちは、今回僕より3週間前に日本に来ています。アメリカは夏休みが長いので、その間子供たちは日本の学校に行っています。これからこういう機会があればと思います。

編集部 では日本にもいいところがあるということでしょうか。

宮下 そうです。日本人のいいところは真

面目なところ、緻密なところ、そして思いやりがあるところです。文化についても、僕は中国の出身なので、日本と通じるものがたくさんあるし、中国で失われているものが日本にはまだまだたくさん残っていると思います。子供たちにはそういった部分を身につけてもらいたいと思っています。

編集部 ぜひ日本に戻られて、そういったこれまでのご経験から日本の医療を変えて欲しいですね。

宮下 日本人は勤勉ですし頭もいいのですが、既存の制度を変えようとしないということは感じますね。今回の日本滞在中、高齢者の患者さんの在宅医療をしているのですが、こういったことはアメリカではしていません。なぜかという、アメリカでは治療、あるいは、介護が必要な患者さんはみな病院、あるいは、ナーシングホーム(Nursing Home)のようなところに入ることができるからです。いま、日本は該当施設が少なく、国は在宅医療推進の方針を打ち出しています。そして患者さんの自宅に医師と看護師を派遣するわけですが、限られている設備と薬品の中、実際には診療はかなり限られています。今日も行ってきましたが、行っても空しさを覚えます。例えば、肺炎を疑ってもレントゲンは撮れないし、採血をしても結果が出るのは明日になります。使える薬もかなり限られています。それで治療は遅れてしまい、治せる病気も治せなくなるんですね。能率という点でも悪いですね。30分、40分かけて患者

さんの自宅に行くわけですが、僕は今日午後3人しか診ていません。日本は医師不足と言っていますが、実際には医師を有効に活用していないんです。

編集部 今日診られた方達はかなり悪い人たちなのでしょうか。

宮下 はっきり言ってわかりません。最後に行った人は脳梗塞後の寝たきりの患者さんで高熱が出ていて僕としては肺炎と尿路感染症を疑うので、レントゲンを撮りたいし、尿を検査したいし、血液をとってすぐ結果を知りたかったですね。その結果をもとに治療の計画をたてられるわけです。どこから熱が出ているかもわからないのでは、有効な手当てができません。

編集部 アメリカにはそういった人たちのための施設が数多く有るわけですね。

宮下 ナーシングホームは退院後、自宅にはすぐ帰れず、引き続きの治療、リハビリが必要、あるいは、要介護度の高い患者であればそこに入ってリハビリ、療養、とある程度の治療を受けることが出来ます。そこには医師もいて、看護師と連携して何かあれば24時間対応しますし、病院もバックアップしています。

日本の場合は、人口10万人中医師が何人いるかというふうに考えますが、その計算方法で他の国と比べると、日本はまだまだ医師が足りないということになります。ですが僕はその考え方は正確ではないと思うんです。そこにどれだけ病んでいる人がいるかで考えるべきだと思います。一般的に

日本人はアメリカ人より健康です。日本人の寿命が長いのは医療の質が高いからではなく、世界で一番健康的な食べ物を食べて勤勉な生活態度でいるからなんです。ですから日本人の健康状態を考えれば、僕はこのくらいの医師の数で十分ではないかと思います。

編集部 在宅医療というのは家族も犠牲になってしまいますね。

宮下 働き盛りの人が家族の介護のため、仕事を辞めざるを得ない、

あるいは、精を出せないというのは本人は もちろん、国にとっても大きな損失です。「老老介護」も悲しい話です。また、素人の人が突然やったことのない介護を強いられることで混乱が起き、質も保たれません。これは、非常に能率の悪いやり方です。やはり、患者の状態に応じた施設を作って、プロの介護人材を育成し、みんなが質の高い、安心できる介護システムを早急に作ることに大事ではないかと思います。それがお金の節約にもつながると信じています。

編集部 将来やりたいことは何でしょう。

宮下 僕が臨床経験してきた中で、西洋医学では対処できない患者さんの疾患、あるいは、訴えがたくさんありました。僕のバックグラウンドである中医学をはじめとした統合医学 (Integrative Medicine) ⁽⁵⁾ が得



東京滞在中、尊敬する帯津良一⁽⁶⁾ 医学博士と対面 (於 ABK)

意とする分野を含めて、プライマリー・ケアの普及と向上に力を注いでいきたいです。その上で日本にもできるだけ貢献したいです。微力ながら、日本でも少しずつ知られるようになってきている家庭医学と統合医学の分野において、医学生と研修医の教育のお手伝いができればと思っています。

編集部 ますますの御活躍を期待しております。

* 5 <統合医学>

統合医学は、ライフスタイルを含む全人的な (身体、精神、とスピリッツ) 視点から細心の注意を払いながら癒しを重点に置いた医療。患者と施術者のパートナーシップを強調し、西洋医学と補完代替医療の双方からあらゆる適切な治療を用いる。

* 6 <帯津良一>

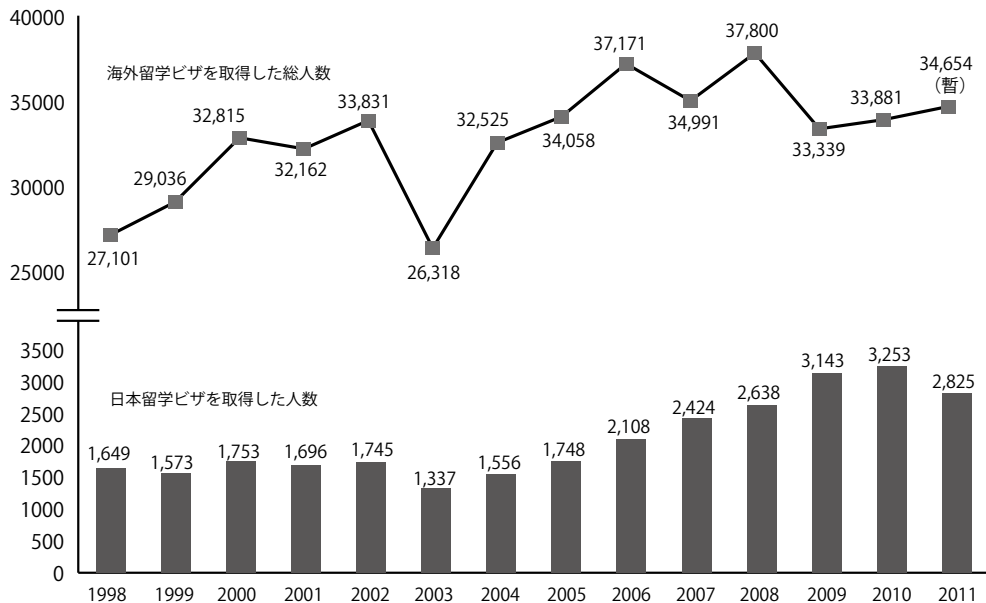
1982 年、川越市に帯津三敬病院を開設し、西洋医学と中国医学を融合した治療をスタートさせる。さらに代替医療、統合医学も取り入れ、究極のホリスティック医学を目指している。

数字で見る台湾における日本留学事情

データ提供：Jstudy 留日情報雑誌

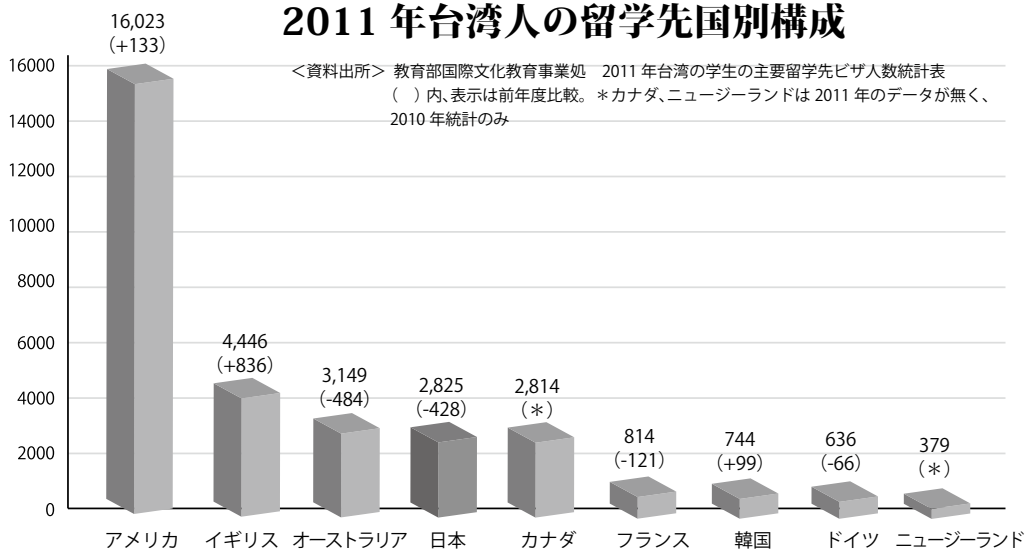
台湾人の留学者総数及び日本留学者数の推移

＜資料出所＞ 教育部国際文化教育事業処 1998-2010 年台湾の学生の主要留学先ビザ人数統計表
2011 年総人数「101 年（2012 年）版教育統計」補充・未包括全体ビザ人数



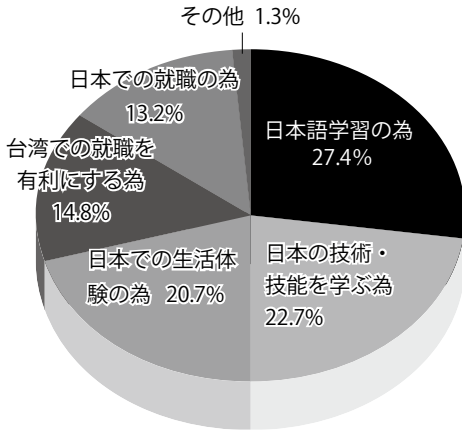
2011 年台湾人の留学先国別構成

＜資料出所＞ 教育部国際文化教育事業処 2011 年台湾の学生の主要留学先ビザ人数統計表
() 内、表示は前年度比較。*カナダ、ニュージーランドは 2011 年のデータが無く、
2010 年統計のみ



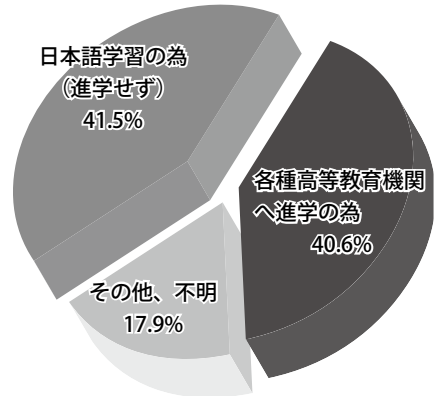
日本留学希望者の 日本留学の動機

＜資料出所＞ 2011年日本留学展来場者へのアンケート 台北、高雄会場で、1,256件の有効回答数有。なお、回答は複数の選択有



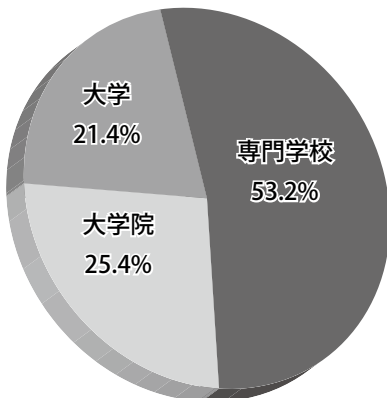
日本留学希望者の 日本留学の目的

＜資料出所＞ J'STUDY 留日情報雑誌読者情報 対象：台湾居住者
登録期間：2011/7/1～2012/6/30 採用件数：875件



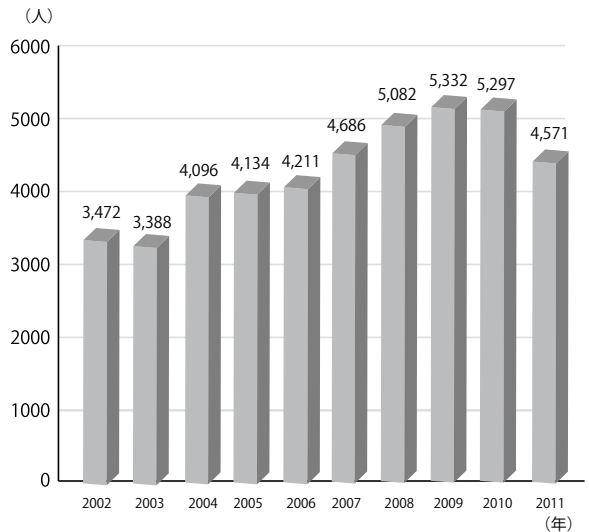
日本留学希望者の 日本での進学目標

＜資料出所＞ J'STUDY 留日情報雑誌読者情報
対象：台湾居住者 登録期間：2011/7/1～2012/6/30 採用件数：875件



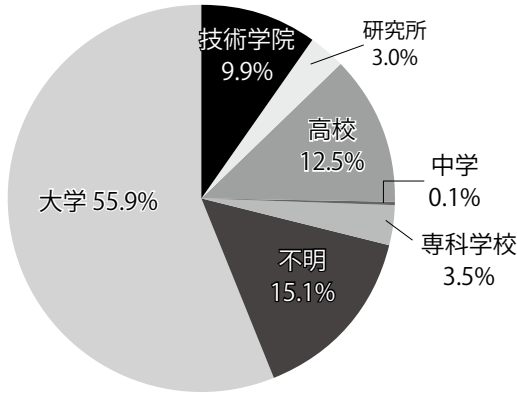
日本の高等教育機関に在籍する 台湾人留学生数の推移

＜資料出所＞ 独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）2011年12月発表「留学」ビザ所有者統計



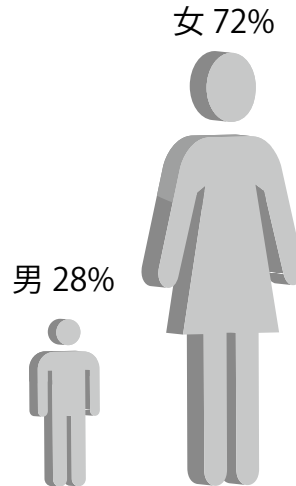
日本留学希望者の学歴構成

<資料出所> J'STUDY 留日情報雑誌読者情報 対象：台湾居住者
登録期間：2011/7/1～2012/6/30 採用件数：875件



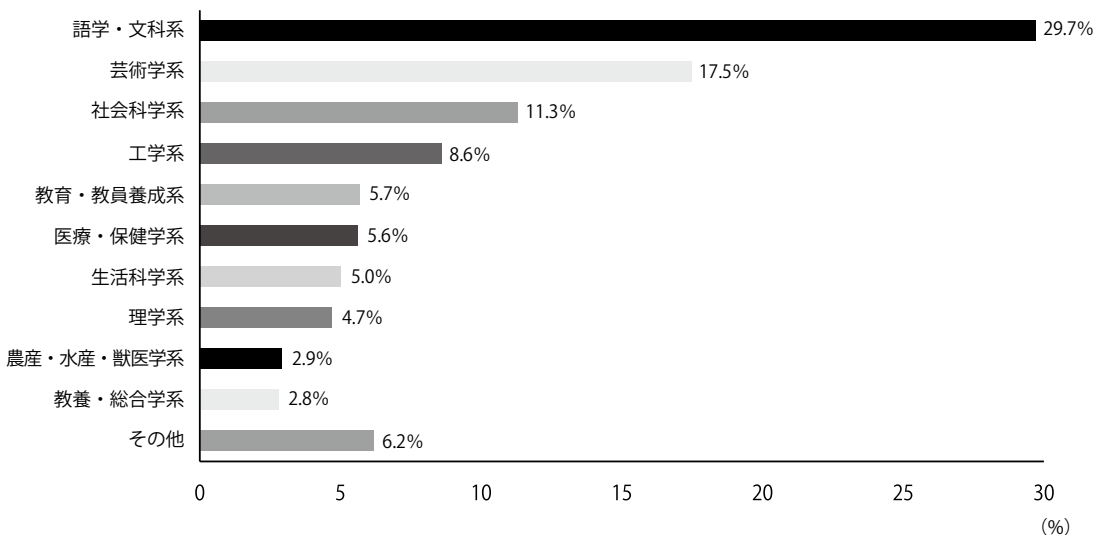
日本留学希望者の性別構成

<資料出所> J'STUDY 留日情報雑誌読者情報 対象：台湾居住者
登録期間：2011/7/1～2012/6/30 採用件数：875件



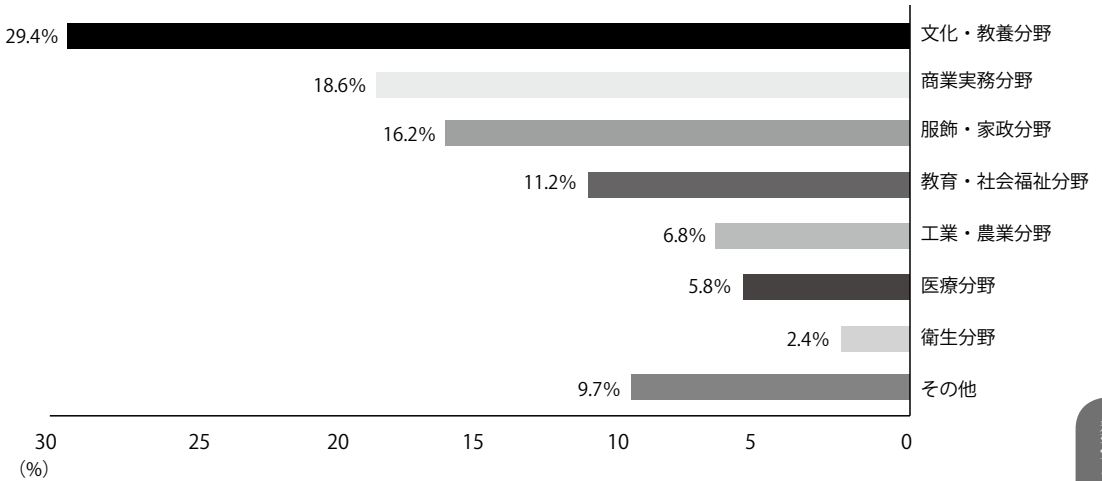
日本留学希望者の進学希望先大学・大学院（学科）

<資料出所> 2011年日本留学展来場者へのアンケート 台北・高雄会場で、1,256件の有効回答数有 なお、回答は複数の選択有



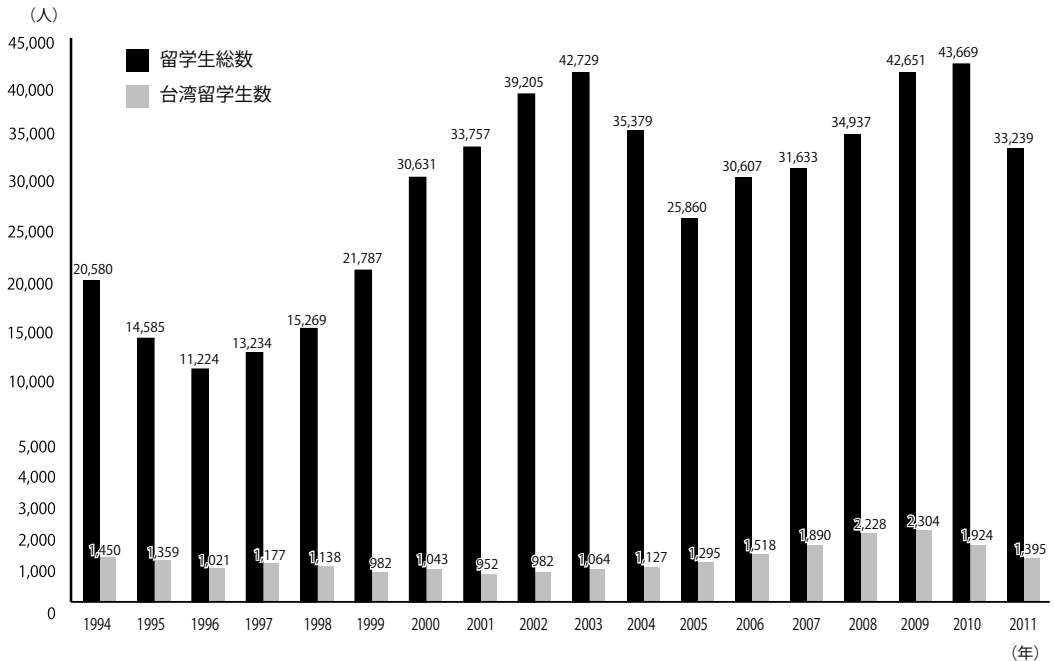
日本留学希望者の進学希望先専門学校の分野

＜資料出所＞ 2011年日本留学展来場者へのアンケート 台北・高雄会場で、1,256件の有効回答数有 なお、回答は複数の選択有



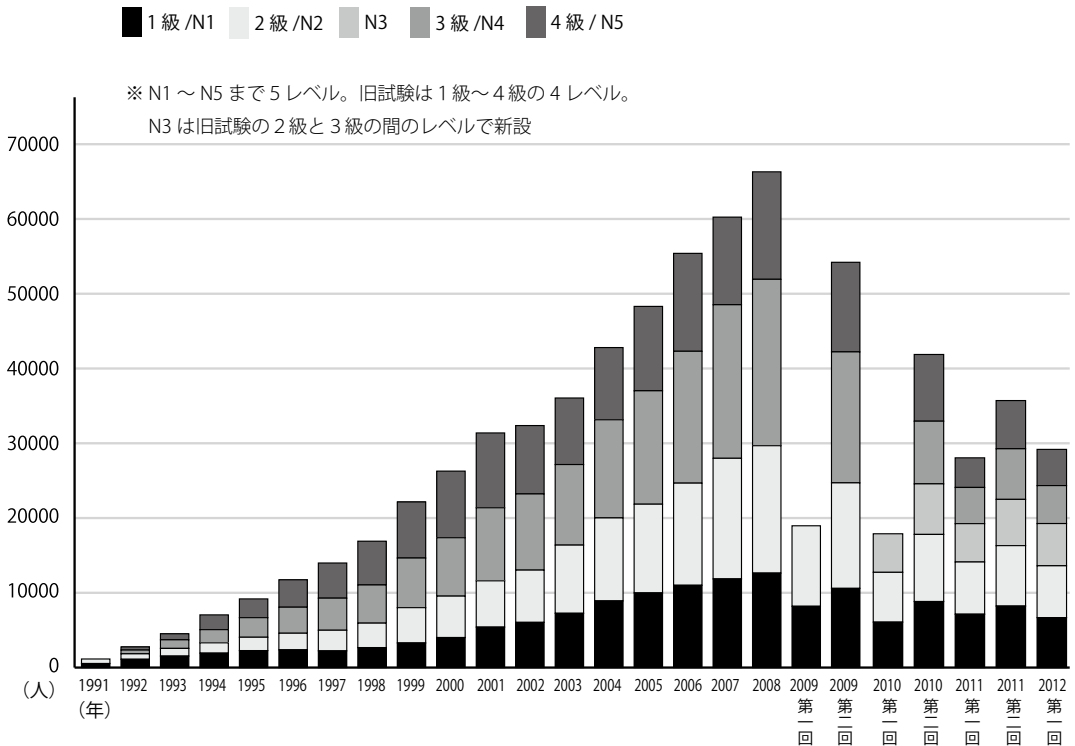
日本の日本語教育機関に在籍する台湾人留学生数の推移

＜資料出所＞ 財団法人日本語教育振興協会調査 2011年7月1日現在



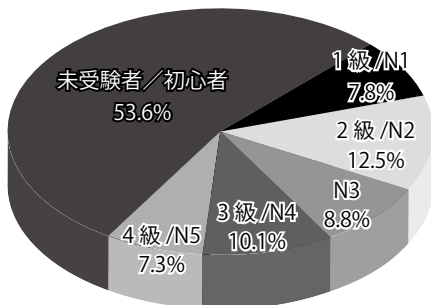
日本語能力試験受験者数の推移

<資料出所> 公益財団法人日本国際教育支援協会 独立行政法人国際交流基金 公益財団法人交流協会 財団法人言語訓練試験センター統計



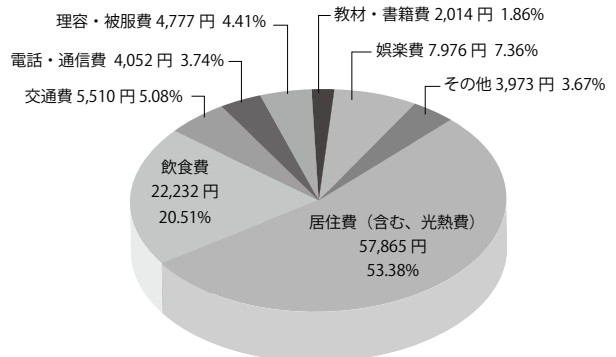
日本留学希望者の 日本語能力試験所持級別構成

<資料出所> J'STUDY 留日情報雑誌読者情報 対象: 台湾居住者
登録期間: 2011/7/1 ~ 2012/6/30
採用件数: 875 件



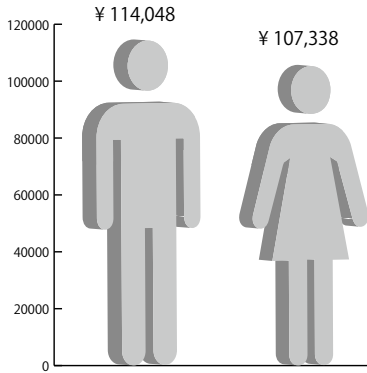
台湾人留学生の 日本での月平均生活費

<資料出所> 2011年11月 J'STUDY 留日情報雑誌調査統計



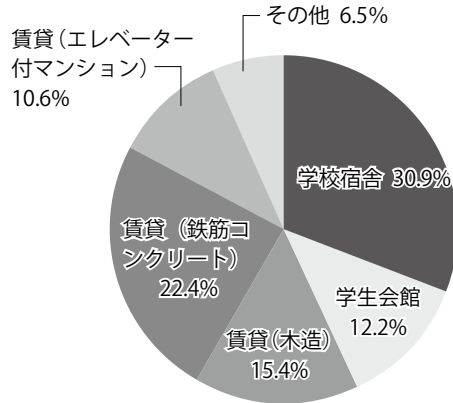
台湾人留学生の 日本での性別生活費の比較

<資料出所> 2011年11月 J'STUDY 留日情報雑誌調査統計



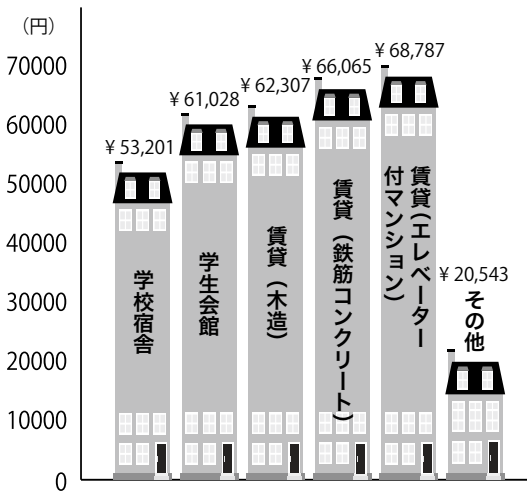
台湾人留学生の 日本での住居選択

<資料出所> 2011年11月 J'STUDY 留日情報雑誌調査統計



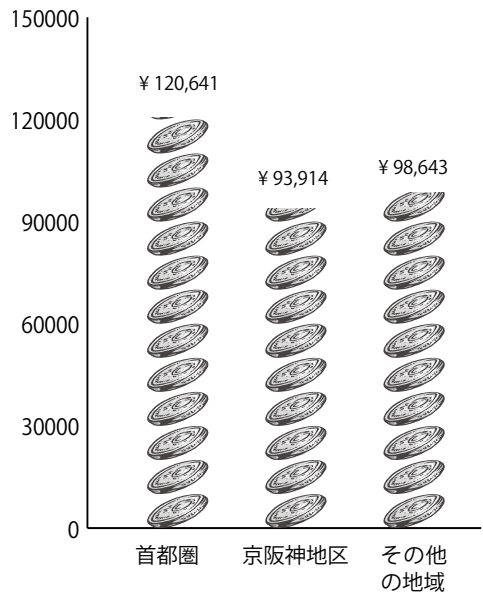
住居形態別家賃の比較

<資料出所> 2011年11月 J'STUDY 留日情報雑誌調査統計



台湾人留学生の 日本での地域別生活費

<資料出所> 2011年11月 J'STUDY 留日情報雑誌調査統計



J' STUDY 留日情報雑誌

お問い合わせ：(日本) 03-6659-3899 (台湾) +886-2-8771-4088

TNI（泰日工業大学）

穂積五一先生 ソンマイ・フントラクーン先生

記念像テープカット式開催



2012年7月28日（土）、タイ国バンコクのTNI（泰日工業大学）において、TPA-TNIの創業者—穂積五一先生並びにソンマイ・フントラクーン先生—の記念像のテープカット式が行われた。当日はTNIの大学祭（第5回TNI創立記念）にあたり、学生が徹夜で準備した飾りで華やかに彩られたキャンパスの中に設けられた会場において、式はまず、TNI学生による民族舞踊で幕をあけた。はじめに、クリサダTNI学長の経過報告、スポンTNI理事長の歓迎の辞、プラユーンTPA会長の祝辞につづいて、ソンマイ夫人によるテープカットが行われた。日本からは小木曽ABK理事長、佃ABK常務理事、金子HIDA（元AOTS）理事長などが参列した。

この記念像は、制作をタイ国人間国宝の彫刻家ノンティワット・チャンタナバリン先生に依頼し4年かけて完成したもので、TNIキャンパス内におけるその設置は、TPA-TNIの創立に尽力した日本とタイの二人の偉大な先人のことを、後世の人々にもしっかりと伝えるために、タイ国の関係者が企画し実現したものである。記念像の台座の両側には、次のように、お二人の言葉がタイ日両語で刻まれている。

TPA の設立は、タイと日本の深い人間のきづなの上に成り立っているもので、当初の約束に則り、タイの自立と繁栄をめざして進められてこそ、生命があり、発展性があるものと言えましょう。



穂積五一 1973年1月



この600年の間の交流で、タイに対する日本人の気持ちの中に亀裂が生じるようなことはほとんどなかったのではないかと思います…日本とタイはこれからも永遠に友好国として助け合うでしょう。

ソムマーイ・フントラクーン 1983年8月



▲ テープカットを待つ関係者たち

▶ ソンマイ夫人によるテープカット



▲ 銅像の前で日タイの関係者が勢ぞろい



▲ テープカットが行われた TNI 大学祭



自分に合っていて楽しいです。問題がある
とすれば、試合であまり勝てないというこ
とでしょうか(笑)。とにかく、誘ってくれ
た部長には感謝しています。

僕の国、バングラデシュでは人より成績
を上げないと就職や留学が難しくなります
から、競争に勝つためにみんな勉強ばかり
していて、社会に目を向ける余裕はあまり
ありません。一方で日本の学生は、たしか

に真面目に授業を受けている人ばかりではありま
せんが、みんな何か一生懸命になれるものを持っ
ているように思います。スポーツでもバイトでも
ボランティアでも旅行でも・自分が好きなこと
を精一杯やること、そこから学ぶことの意味はど
ても大きいのではないのでしょうか。そこで積み重
ねた経験と仲間との交流は必ず社会に出た時に生
きてくるはずです。日本の学生にはそういうチャ
ンスがたくさんありますし、僕自身も国にいたら
できない経験をたくさんさせてもらっています。

また、僕は工学部の学生ですが、日本には身近
に優秀な工業製品が溢れており、僕らが働きたい
と思える有名な企業や研究所など、目標とできる
職場が数多くあります。だから早くから自分は何
をしたいのかということをイメージできますし、
そのために今何をすべきかということを考えて学
生生活を送れます。でもバングラデシュにいたら
そうしたイメージさえ持つことは難しいのです。

ですから学問についてはもちろん、日本に留学
して本当に良かったと思っていますし、バングラ
デシュの後輩から日本留学について聞かれたら、
もちろん勧めます。日本は安全に暮らせますから、
親も安心して送り出せると思います。

でも、もし日本がダメでも、チャンスがあれば
どこの国にでも留学することを勧めます。バング

ラデシュはとにかく人が多いので、能力があつ
てもそれに見合った高校や大学に入れない人が
大勢います。彼らはバングラデシュに住んでい
ても国のためにはなりません。彼らが世界中に
留学して、そこで知識を吸収して国に帰れば、
もっと良い方向に国を動かせると思いますし、
何より人々が世界中に散らばれば人口密度が
減って、市民の生活も快適になりますよね(笑)。

僕の出身高校は Notre Dame College と言っ
て、国ではかなり優秀な学校でしたが、それで
も留学するのは学生の1割以下です。留学先
はアメリカが多いと思いますが、最近ではシン
ガポールの人気が高く、隣のインドに行く人も
います。

ただ、留学を希望するバングラデシュ人に
とつての一番の問題はお金です。バングラデ
シュは年々経済が良くなっていると言われて
いますが、GDPなどの経済指標の伸びと、
実際の人々の生活は必ずしも結びついている
とは言えません。だから日本の大学や留学の
ための奨学金、アルバイトなどの情報が、もっ
とバングラデシュに伝わり、たくさんさんのバ
ングラデシュ人学生が日本留学に関心を持てる
ように、日本のみなさんにも協力をお願いし
たいと思います。

日本で最も難しいことは

レズワン A ラスル (Mr. Rezwan-A-Rasul) バングラデシュ

東京工業大学工学部電気電子工学科 3年生

日本の生活で特別大変だと思うことはないのですが、難しいのは日本人の友達を作ることです。大学3年間でできた友達の数には東京外国語大学で他の留学生たちと日本語を学んだ最初の1年間に比べて、ずっと少ないですから。

東京工業大学の留学生数は大学院では日本で一番多いらしいのですが、学部は少なく、僕のクラスも50人のうち留学生は僕一人だけです。せっかくの機会だから大勢の日本人と話したいし、みんなに聞きたいことはいっぱいあるのですが、なかなかうまくいきません。日本人から最初のアプローチが来たら自分もいろいろなことを話そうと思っていたのですが、結局それはありませんでした。

だから今、大学で友達と言えるのはほんの数人です。バングラデシュ人の先輩にも、「自分から積極的にアプローチしないと日本人の友達ではないぞ」と言われていたのですが、その通りになってしまいました。

ただし4年生になって研究室に入れば、お

互いの距離が近くなりますから、もつといういろいろな人と話すチャンスが増えるのではないかと、少し希望を持っています。

友達を作るのなら、大学のクラブやサークル活動に参加するといった話はよく聞き



ます。僕は卓球が好きなので、大学に入っすぐに卓球部に入ったのですが、半年で止めてしまいました。留学生は最初、日本語の問題で授業について行くのが大変ですから、練習が厳しい部活との両立は難しいとか、上級生があまりにも上手くて自信を無くしたとか、

理由はいろいろあるのですが、やはり一番の理由は友人ができなかったことだと思います。困難があっても誰かが声をかけてくれたら、助けてくれる人がいたら、もつとがんばれたかもしれません。黙々と練習ばかりでは面白くないですね。仲間と話したり、どこかに出掛けたり、そういうことがあって、初めて部活が楽しいと思えるのだと思います。

ところが同級生たちの話す今どきの日本語は難しく、なかなか会話に入ることはいけません、気がついたら孤立してしまっていたという感じです。

その後しばらくクラブ活動には参加していませんでしたが、今はバングラデシュ人の友人が部長を務めている東京大学(東大)のクリケットクラブに所属しています。これは東大のクラブで、ちゃんと学連にも所属しているのですが、僕のように他大学の学生も若干名メンバーに名を連ねています。練習は週末だけです、みんな和気あいあいとやっていますから、こちらは

田井重治さんを偲ぶ会のご案内

初秋の候 愈々ご清祥のことと存じます。

さて、田井重治さん（前アジア学生文化協会理事長）は今年2月永眠されましたが（享年89歳）、生前お世話になった者が相はかり、下記の通り偲ぶ会を催すことと致しました。皆様ご家族誘いあつてご参集下さいますようお願い申し上げます。

敬具

2012年9月

発起人 千代田博明、杉浦正健、是松恭治、小木曾友

工藤正司、松平吉世、劉彩品、グエン・ドク・ホエ（順不同）

と き 2012年10月14日（日） 午後2時より

ところ 如水会館 千代田区神田一ツ橋2-1-1 電話 03-3261-1101

（地下鉄「神保町駅」徒歩3分、「竹橋駅」徒歩4分）

会 費 5千円（現役留学生・中学・高校生は3千円、小学生以下の方は不要です）

*出席を御希望の方は①名前②田井さんとの関係③連絡先を email またはお電話でアジア文化会館（ABK）までお知らせ下さい（締切10月5日）

E-mail asca50@abk.or.jp FAX 03-3946-7566 TEL 03-3946-4121（担当：布施）

六文会*が「故田井（重治）さんの思い出」の文集発刊 「故田井（重治）さんの思い出」の原稿募集中！

2012年7月15日（日）開催の六文会総会において、「故田井（重治）さんの思い出」の文集の発行が決まりました。つきましては、田井さんにご縁の深い方々からの原稿を下記の通り募集いたしますので、たくさんの方々からの御寄稿をお待ちしております。

■原稿応募に関して

1. テーマ：①田井さんの思い出 ②50年後のアジアと日本（いずれも可）
2. 枚数：1200字以内（400字詰め原稿用紙3枚以内）、原則として、和文縦書き。
但し、英文の場合はA4 1～2枚。
3. 締切：2012年10月下旬
4. 原稿送付先：〒275-0026 千葉県習志野市谷津6丁目16番地17 412号 寺門克郎
TEL: 047-478-7260 FAX: 047-478-7261 E-mail: terakado-katuro@m3.gyao.ne.jp
5. 発刊予定：2013年2月

*六文会：至軒寮、新星学寮、アジア文化会館の出身者並びに関係者が集い、定期的に勉強会を開催し相互啓発を図る会で、会の名称は穂積五一先生ご夫妻の名前にちなんで田井さんが命名。1993年に発足。

Event & Festival

アジアフォーカス福岡国際映画祭 2012

1989年にスタートし、今年で21年めを迎える福岡国際映画祭。今年は15カ国36作品、協賛企画協賛企画を含めると230作品が上映されます。どの作品もスタッフが現地調査をし選定された作品で、「その土地の、その時代の、より深いところから出る声」が反映されたアジアを知るための名作ばかりです。開催期間中は各国から監督や出演者が来日し、セミナーやサイン会、舞台挨拶などが行われます。

★期間：9月14日（土）～9月23日（日）（14日はオープンセレモニー等）

★入場料：1作品券 1,200円（前売1000円）、シルバー（60歳以上）800円
中高大生・留学生 500円、5作品券 5,000円（前売4,000円）
20作品券 12,000円（前売10,000円） ※小学生以下無料

★主要会場：天神ふれあい広場、T・ジョイ博多、JR九州ホール、JR博多シティ会議室

★主催：アジアフォーカス・福岡国際映画祭実行委員会、福岡市

★ご連絡・お問合せ：TEL：092-733-5170 受付 10:00～17:00（平日のみ）

E-mail：info@focus-on-asia.com

公式サイト <http://www.focus-on-asia.com/>



我が友ラシェド（バングラデシュ 2011年）
少年たちの目を通して描かれるバングラデシュ独立戦争の物語。突然現れた不思議な転校生ラシェドと彼の同級生たちが知恵と勇気を振り絞り、祖国がパキスタンから独立するために行動を起こす。

上映作品より



飼育（仏／カンボジア 2011年）
ベトナム戦争下のカンボジアの農村。クメールルージュによって兵士になる教育を受けていた少年たちは、ある日、墜落した米軍機に乗っていた黒人兵の見張りを任されることに…。

日中大学フェア&フォーラム

中国の大学とともに切り拓くグローバルなイノベーションの時代

「日中大学フェア & フォーラム」は、中国の大学と日本の大学、研究機関、企業、および日中の学生、留学生等が交流を深める場を提供し、両国の協力関係の促進を図るものです。中国の大学約60校と日本の大学約50校が展示やセミナー等を行う「フェア」と、日中の大学、産業界を代表するリーダーたちが講演とパネルディスカッションを行う「フォーラム」によって構成されます。「フェア」では、日中の大学が、大学・人材交流や研究・技術交流について、それぞれの活動と実績、最新の研究・技術を展示・紹介します。また、中国の大学への進学・留学に関する大学生、高校生向けのセミナーや、参加大学のニーズを踏まえた日中大学のマッチングなど、様々な企画イベントが行われます。「フォーラム」では、大学学長や企業の代表者らによる基調講演、日中大学・企業によるパネルディスカッションを行います。

★ 日時：9月27日（木）、28日（金） 9：00～17：00

★ 場所：東京国際フォーラム（入場無料）

（千代田区丸の内3丁目5番1号／有楽町駅より徒歩1分東京駅より徒歩5分）

★ 主催：文部科学省、独立行政法人科学技術振興機構、独立行政法人日本学術振興会、
独立行政法人日本学生支援機構、中国留学服務中心

★ ご連絡・お問合せ：「第3回日中大学フェア&フォーラム」日本運営事務局
株式会社JTBコミュニケーションズ内、TEL: 03-5434-8515
E-mail: reg@univff.net 参加登録→ <http://univff.net/index.html>

ナマステ・インド 2012

今年で19回目を迎える日本最大のインド関連イベントです。インドの舞踊、音楽、インド映画、サリーの着付け体験、ヨガ、アーユルヴェーダ、メヘンディ（ヘナで手足に描くアート）、インド関連ブックフェア、スパイス、紅茶コーナー、インドレストラン、観光ブース等々。さらにセミナーハウスでは、さまざまな講演、ヨガ・タブラのレクチャーとワークショップ、アイヌ民族の文化紹介とワークショップ等が行われる予定です。

★ 日時：9月22日（土）、23日（日） 10：00～20：00（23日は19：30）

★ 場所：（メイン会場）東京都代々木公園イベント広場、野外ステージ、（第2会場）たばこ
と塩の博物館（渋谷）

★ 企画主幹：ナマステ・インド実行委員会、NPO 法人日印交流を盛り上げる会

★ ご連絡・お問合せ：ナマステ・インド実行委員会 事務局
TEL:025-752-2396 FAX: 025-752-6076
E-mail: namaste-india@indofestival.com



※ 各情報の詳細は主催団体ホームページ等でご確認ください。奨学金情報は、日本留学情報データベースサイト = JPSS (<http://www.jpss.jp/ja/>) にて検索が行えます。

しょうがくきんじょうほう 奨学金情報

■ロータリー米山記念奨学会

①学部課程奨学金

(a) 日本以外の国籍を有する者で在留資格「留学: College Student」で日本に在留している者、または日本の大学等に在学中で法務大臣から「難民: Refugee」の認定を受けて日本に在留している者

(b) 2013年4月に学部課程3・4年目(医・歯・獣医学部は5・6年目)、高専専攻科1・2年目、専修学校高度専門士課程3・4年目に在籍する者

(c) 他の奨学金を受給していない者(在住の留学生全員が受給対象になる地方自治体の学習奨励金や学術上の貢献に対する一時的な褒賞金、および授業料免除は奨学金とみなさない)

(d) 45歳未満8

(e) 博士の学位を取得している者には応募資格がない。ただし、既に取得している博士の学位と異なる研究をする場合には、応募資格がある

②修士・博士課程奨学金

(a)・(c)～(e)は学部課程奨学金に同じ

(b) 2013年4月に、修士課程1・2年目、博士課程2・3年目(医・歯・獣医学系博士課程3・4年目)に在籍する者

給付金額(月額): ① 10万円 ② 14万円

給付期間: 課程修了までの最長2年間

採用人数: 約500名

応募方法: 学校(指定校制)を通じて申し込む。

募集締切: 10月15日(当日消印有効)

※ 募集要項・申込書・指定校は下記ホームページを参照

主催者連絡先: ☎ 03-3434-8681

URL <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



イベント情報

外国人のための専門家相談会 (東京)

毎日の生活の中で、困っていること、聞きたいことの相談ができます。弁護士をはじめ、分野の専門家が無料で相談に応じます。

日時◆ ① 2012年9月23日(日曜日) 14:00～16:30 ② 10月14日(日曜日) 12:30～15:30 ③ 10月27日(土曜日) 13:00～16:00

会場◆ ①南千住駅前ふれあい館 (JR常磐線/東京メトロ日比谷線/つくばエクスプレス『南千住駅』) ②国分寺労政会館 (JR中央線/西武国分寺線/西武多摩湖線『国分寺駅』) ③弁護士会館 12階講堂 (日比谷線/丸ノ内線/千代田線『霞ヶ関駅』)

相談内容◆ 在留資格(ビザ)、労働、結婚、離婚、教育など

通訳◆ 英語、中国語、韓国語、ポルトガル語、ベトナム語、スペイン語、タイ語、フランス語、タガログ語など(開催場所により異なります。各主催者にお問い合わせ下さい。)

主催◆ ①荒川区国際交流協会/NPO法人COMPASS ☎03-5841-1724 ②国分寺市国際協会 ☎042-325-3661 ③関東弁護士会連合会 ☎03-3581-3838

MEMBERS

〈ご入会とご寄付の報告〉

2012年6月

正会員

(1口)

内山 敦之	中野区
千野 克子	墨田区
近藤 清子	秩父市
中村 尚司	京都市
竹林 惟允	練馬区
宮前 つる代	秩父市
橋本 匠弘 ㄥ-ル	坂戸市
忍足林基	江東区

森尾 正照	北巨摩郡
樋口 隆一	文京区
中西 鶴子	名古屋市
小池 都	さいたま市
山田 守一	港区
大田原 康彦/真澄	中央区
松岡 弘	相模原市
倉内 憲孝	池田市
河内 若菜	目黒区
井上 美和子	文京区

ご寄付

小田中 聡樹	仙台市
山田 守一	港区

2012年7月

正会員

(2口)

柳瀬 修三

タイ

(1口)

関 正昭

平塚市

大里 浩秋

逗子市

山田 裕子

三鷹市

今泉 雅勝

墨田区

佐藤 郁夫

仙台市

真利子 知之

中野区

ご寄付

栗原 静子

気仙沼市



ABK同窓生募金 (2012年7月31日現在)



ご協力ありがとうございました。募金のご報告は『アジアの友』並びに同窓会ホームページ
< <http://www.abk.or.jp/abkd/fund/houmeiroke.html> > で随時ご報告させていただきます。

- 目標額：5,000万円
- 募金額：41,648,267円
- 寄付者数：786件

〈 〉内は出身・在住国、地域、ABC順

〈中国〉張建敏

〈日本〉新谷美紀子／美也子、千野克子、浜崎長壽／和子、飯沼英郎、工藤幹雄、川上剛、大里浩秋、大島光恵、酒井杏郎、澤登千恵子、関正昭、竹林惟允、吉原秀男、匿名(1)

〈マレーシア〉Cheah Soo Lin、Foo Yuki (符優綺)、Lew Kim Song (劉金雄)、Liau Kok Wee、Lim Chin Ee、Ong Cheng Han (王清漢)、Puah Chin Chye、Sim Ee Looi、Tay Kiam Guan (鄭謙源)、Tee Kian Meng、Wong Mei Kin、Yap Men Fatt

〈シンガポール〉Chia Guan Sey (謝元生)

〈台湾〉維維

以上、29件

2012年5月31日以前の寄付者(757件)

〈バングラデシュ〉A.K.M. Moazzem Hussain、橋本イスラム・ヌルール (在日)

〈ブラジル〉ALBERTO TACHIBANA、Alice Nakamori、フランシスコ ヒロノリ イシハラ、Hashiguchi Mariuza、Matsubayashi Marcia、ミズマ アイコ タチバナ、Nelson Yamakami、セキヤ タチバナ、Tomooka Tizuko、ヤマウチ アツシ、ヤマウチ カズコ

〈カナダ〉張素華 (香港)

〈中国〉蔡堅平、陳洪真、Chen Xian (陳猷)、戴志堅／陳艷萍 (2、在日)、高榮、可軍 (広中軍二、在日)、賈輔忠、賈蕙萱、金秋、金東翰、郭南燕 (在日)、李春利 (在日)、Li Chen Xi 李晨曦、李惠春、劉明華、劉映春、劉越 (在日)、呂新一 (在日)、孟令樺・計宇生 (在日)、Meng Xiao Xiao、宮下偉路 (趙偉路、在米)、倪玉、Ou Yang Fei 歐陽菲 (在日)、朴順玉、全浩、沙蓮香、尚捷、孫前进、

王巍、Wang Wen 王穩、魏慶鼎、嚴浩、楊一帆、張新、張新旺、張航、張勇、Zhou Xiang

<ドイツ> Heng Fu Chong (マラヤ)、

<香港> Chan Sui Ngan (陳小雁)、Choi Man Wa (蔡敏華)、梁志瞬、Yeung King Hong (楊經航) / 蔡金燕 (マレーシア)

<インド> AAWI(AOTS Alumni Association of Western India)、A.P.Wagle、ABK-AOTS Dosokai Chennai Center、Abul Sharah、Ashok Saraf、雅留宮久麿 (在日) / 澄子 (日本)、M. Ramamurthy

<インドネシア> Budhi Setiawan Kohar

<イラク> Mudhafar Al. Jabiri

<カンボジア> 忍足林基 (在日) / 美恵子 (日本)

<日本> ABK 留学生友の会、赤星裕、安藤哲生、新井敬二・由利、新井重光、荒川雄彦、アジアの新しい風、Ch atty B.Q.(ワタナベ)、近山武子 (3)、藤原一枝、深澤のぞみ、福譲二、福本一、古川恵世、布施知子、濱田洋子、秦幸吉、橋口真人、林均、樋川好美、平井まりこ、平峯克、平岡昭子 (2)、平田熙、帆刈礼子、堀香奈美、堀幸夫、堀内智代子、細川哲士、穂積亮次、井出遊、池田俊二、池森亮介、池野朋彦・晶子、池添尚行、稲垣敏彦、井上恵子、井上駿、犬塚雄大、伊佐玲子 (2)、石原廣、石原誉慎、石井信彦、石川毅・優子、伊藤郁子、伊藤順 (3)、伊藤源之 (2)、岩井秀明、岩尾明、岩佐佳英、岩崎幸子、甲斐等、加倉井弘行 (2)、兼重節、兼重道雄、兼重智雄、勝部純基、香月恵美子 (2)、河合秀高、川上剛 (在スイス)、川崎依邦 (OCE)、北マツ、北川泰弘、北原千絵、北山文泰 (2)、倉部絹代、小林浩、小林泰子、小宮信介、金野隆光 (3)、久保哲也、久保木裕一郎、工藤正司、工藤幹夫 (4)、熊沢敏一、倉内憲孝、栗原静子 (2)、黒田一雄、黒羽宏、久津間優子、町田恵子、町田航、牧美保子 (2)、槇操、馬杉栄一、松平吉世、松井正枝、松岡弘、松崎松平 (2)、真弓 忠、宮野尾光正、宮内俊治、水須善行、森尾正照、森下明子、村田忠禧、村山秀男、中原和夫 (2)、中島正喜 (2)、中嶋源吾、中元菅根 (2)、中村洋一、中野正明、中曽根信 (3)、日本養成学会、西田祥子、西垣幸朋、西原彰一、西嶋勝彦、西本梶、西村清人、西谷隆義、新田宣子、野田 (小金丸) 春美、野口明美、野村美知子 (3)、小田中聡樹、小川巖、小川輝夫、小木曾大 (2)、小木曾建、小木曾友 (3)、小倉尚子、小原正敏、大西一郎、岡島昭治、岡崎道子 (2)、大木直美、大久保伸枝、大野大平、岡部洋一、奥山節子、奥山義夫、大村光、小野寺武夫、小野里光博、大澤龍、忍足絵美、忍足眞理、大杉立、大谷里恵子、六文会、斎藤雅史、齋藤美知子、齋藤やす子、酒井杏郎、榊正義・正子、酒巻彩乃、坂元ひろ子、三溝弘悦、早乙女和義・博子、佐藤郁夫、佐藤正文 (2)、佐藤玲、澤登千恵子、渋谷寧伸、清水国夫、清水勇治・泰代 (2)、白石勝己、白石勤、白鳥文子、代田泰彦、尚美学園大学国際交流センター、染谷公久、染谷誠、總寧寺、菅原照代、杉本宏樹、杉浦貴和子、杉山兼一、栖原暁、鈴木繁、鈴木智、鈴木八重子、鈴木順子、田川明子、田口久美子、田口昌子、田尻英三、高道俊彦 (3)、高木桂子、高橋喜久江、高橋満、高橋作太郎 (2)、高橋幸枝、高橋雄造、高野靖子、高柳直正、竹林惟允 (2)、竹田肇・和子 (2)、竹嶋俊紀、宅間薫 (2)、田守智恵子 (2)、田中千佳子、田中雅幸、田中美智子 (2)、田中利恵子、田中紳一郎、田中多美子 (2)、田中稔子・静子、谷口哲雄、寺門克郎 (2)、寺尾方孝・三枝子、寺沢宏次、田井

満里、田井良知、田井亮吉、戸田清、鶴田純一・由美(2)、東京華僑総会、富岡昭二郎、外山経子(8)、豊島由久、土屋元子、土屋幸子、佃吉一(2)、鶴尾能子、堤祐子(2)、内山敦之、宇戸清治、上高子、上田菜生、植田泰史、畠本昌介、漆黒才子、渡辺譲二、簀下勝、山田健一、山田守一、山田裕子、山口憲明(3)、山本斉、山本出、山本章治、山野井昭雄、山之内正彦・萩子、山下靖典、山海保、山崎光郎(3)、依田良子、横山昌幸、横沢喜久子、横山昌幸、吉田裕子、吉田菜穂子、吉原エツ子、吉川英一(在中国)、湯山佳代、匿名希望(3名)、50周年委員会売上(4)

<韓国>崔銀珠(在日)、韓英鳩、西原景哲(在日)、Oh Bum Suk、Youn Seong Kook(尹誠國、在日)、禹守根(在中国)

<ラオス> Chanthasone Inthavong(在日)

<マレーシア> 2011年11月12日留日学生同窓会パーティー一同、Adelyn Ngo、Amy Tan(陈春蓮)、Alan Tan Yu Poo、Ang Gi Moh(洪以謀)、Ang Khoon Chye(汪坤才)(2)、Ang Lip Chee(洪立志)、Ang Sheng Feng(洪巧芬)、Ang Wan Leng、Apple Vacation & Conventions Sdn. Bhd. [苹果旅游有限公司; Koh Yock Heng(許育興)]、Aw Leong Gee(歐良義)、Beh Chor Kim、Beh Teck Chuan、Boon Woo Seng(溫武成)、CM Aung、Cha Yee Seng(謝宇誠)、Chan Huan Pang(曾煥邦)、Chan Kok Foo(陳國富)、Chang Chew Chin(張昭成)(3)、Charles Chow(鄒貴璋)、Chaw Kam Shiang(周錦生)、Cheong Bee Nah(鐘美娜)、Chew Ching Seng(周昌盛)(2)/Low Kim Lee(刘金莉)、Chew Fook Keong(周福強)/Goh Ger Teng(吳月婷)、Chia Hong Hyiap(謝鴻業)、Chia Li Teck(謝礼得)、Chia Mee Hang(蔡美賢)、Chin Yok Wan(陳玉旺)(2)、Chin Saw Kiun(陳少勤、在日)、Chiu Jin Eng(冰周人英)/林惠冰、Chong Piang Wee(張炳輝)、Chong Teek Foh(張德福)(2)/Chow Soo Lin、Choo(2)、Yun Fah、Choong Chee Yee、Choong Yoon Seng、Chow Kwee Lin(鄒貴仁)、Chuah Yeon Hang(蔡耀漢)/Keong Chin Huai(強青懷)、Chuan Seong Tiang(Jeff Tiang)、Chui Wai Kong(朱威金光)、Clifford Lee(李進才)、Ee Ley Tiong(余勵忠)(2)、Fong Cheong Thiam(洪昌添)、Fong Wee Keat、Foo Hee Hiang(符氣強)(2)、Foo Keah Keat、Foo Ming Lian(符明蓮)、Foo Siang Seng(符祥盛)(2)、Foo Soo Kong(符素光)(2)、Gan Kok Seng(顏國成)、Gan Seu Kian(顏綉涓)、Gan Teck Yeow(顏得耀)(2)、Goh Peng Ooi、Goh Swee See(吳瑞獅)、Ham Poh Can(范宝权)、Ham Poh Chyan、Heong See Yoon(香世运)(2)、Hew Boon Thai、How Chai Nguan(侯再源)、Joan Wai Kim Foh、Kang Chin Yeh(江晋業)、Kenneth Wong(黃復翔)(2)、Kevin Ng(吳錦強)、Khu Hwa Leng(邱華龍)、Koh Hong Hwee(許鴻輝)、Kong Guan Wie(江元偉)、Kong Kwee Song(江回松)、Kong Sian Shih(江幸柿)、Lai Yoon Poh(賴永保)、劉・有村開順、Lau Kok Yong(刘国荣)、Lau Sau Hong(劉少峰、在日)、Lau Shiang Horng、Lau Weng Wah(刘润华)、Lee Check Poh(李志保) Ng Sui Ying(黃瑞英)、Lee Chee Heong(李志雄)、Lee Kian Ling(李建霖)、Lee Kian Ling(李健霖)、Lee Kong/Lam Chok Yak、Lee Leong King(黎亮景)、Lee Liong Mui、Lee Miow Ying(李妙英)、Lee Mow Tiam(李茂添)(2)、Lee Tee Boon(李智文)(2)、Lee Tiam Hing(李天興)、Lee Yuet Keong(呂月強)/Kek Sai Fong(郭思坊)、Leong Khee Hoo(梁其和)(2)、

Leong Thiat Eng (梁德栄)

2012/7/31 現在 ABK 同窓生募金国別集計

(2)、Leong Wing Sum (梁永森)、Lew Kim Song (劉金雄)、Liaw CK (廖俊光)、Liew Teck Boon (劉徳文)(2)、Lim Bok Hek (林木火)、Lim Chee Tian (林志田)、Lim Chin Ee (林振意)(2)、Lim Chong Chan (林忠贊)、Lim Hock Lai (林福来)(2)、Lee Li Soon、Lim Liong Chu (林良住)、Lim May Yan (Mmrcia Lum May Yan) (2)、Lim Peng Jin (Scientex Japan Co., Ltd.)、Lim Sin Yean (林欣燕)、Lim Soon Hang (林順衍)、Lim Suat San (林雪珊)、Lim Thian Huat (林天发)、Lim Yok Chai (林意財)、Loh KC (羅国俊)、Loke Hon Yee (陆汉宇)(2)/June Tan (陈素芯)、Low Cho Kee (刘助基)、Low Han Peng (刘汉平)、Low Kim Lee (劉金莉)、Low Leong Meng

国・地域	件数	合計額	備考
日本	332	18,189,712	含、在外/同一人複数回
マレーシア	301	12,162,974	含、在外/同一人複数回/日本人25
タイ	49	5,050,426	内日本人17
中国	41	2,430,000	含、在外/在日他
ベトナム	7	1,423,000	含、在日
ブラジル	12	627,015	
韓国	7	420,000	含、在日他
カンボジア	1	300,000	在日
シンガポール	8	380,140	含、在日
インド	7	190,000	含、在日
香港	4	170,000	
台湾	9	165,000	含、在日
ミャンマー	1	50,000	
バングラデシュ	2	40,000	含、在日
イラク	1	10,000	
インドネシア	1	10,000	
パキスタン	1	10,000	在日
ペルー	1	10,000	在日
ラオス	1	10,000	在日
合計	786	<u>41,648,267</u>	

(羅亮明)、陸培春留日センター、Lwee Lew Chen (雷柳菁)、Lwee Yuen Chiang (雷远江)、Lwee Yuen Tung (雷远东)、Na Chin Teong (藍振忠)、Ng Chin Keong (黃振強)(2)、Ng Chuan Aik (Tony Cang; 黃泉毓)、Ng Eng Hooi (黃永輝)、Ng Kim Chai (黃金財)(2)、Ng Mee Wah (吳劍華)(2)、Ng Teong Guan (黃忠元)、Ng Thian Eng (黃殿英)、Ngiam Tee Seng (嚴世清)(2)、Ngwan Boon Ming (阮文明)、Ong Cheng Chuan (王清川)、Ong Ching Long (王建龍)、Ong Chooi Lee (王翠莉)、Ong Poh Heng (王宝慶)、Ong Thye Beng (王泰明)、Ong Wei Bing、Ong Yee Meng (王玉明)、Pang Choon Boon (彭俊文)、Pang Pow Kwee (方宝貴)、Pang Yuet Hueng (彭月紅)、Phang Siew Kiong (彭修強)、Poh Siew Hui (傅秀慧)、Quah Saw Ting、Quah Soh Teah、Sam Cha Peng (覃澤平)、Seah Boon Chieng (謝文清)、Shia Wei Jong (余維忠)、Siau Fook Siong (箫福祥)、

Siew Kooi Kam (蕭鉅金)、Siew Moey Yen、Sim Eng Kang (沈永江)、Sim Kee Hong (沈其豐) (2)、Sim Kim Ling、Simon Liow (廖天發) /Ho CL (何俵伶)、Soo Kee Chee (蘇克智)、Soh Keh Woei (蘇克偉) (2)、Soo Seck Heng (苏锡兴) (2)、Soon Kian Seng (孫健勝)、SKK Kaken (M) Sdn Bhd、Soon Sai Kheng (宋世勤)、Stanley Lian、Su Kui Sheng (蘇桂昇)、Sui Kwai Chan、Tan Boon Liang (陳文亮) (2)、Tan Chaik Kwang (陳澤光)、Tan Chee Kiong (陳志強)、Tan Chee Teong (陳治中)、Tan Cheet Yong (唐志勇) (2)、Tan Chew Mooi (陳秋妹)、Tan Hwee Ing、Tan Keah Moh (陳佳茂)、Tan Kee Hang (陳繼漢) (3)、Tan Pang Tee (陳邦智)、Tan Peck Ming (陳碧明)、Tan Peck Ming (陳碧明)、Tan See Seng (陳時生)、Tan Soo Sin (陳素芯)、Tan Wee Pin、Tan Wee Seng (陳为胜) (2)、Tang Eng Huat (陳永堯) (2)、Tang Gek Eng (陳玉英)、Tang Kok Lian (湯国亮) (3)、Tang Miow Chin (湯妙晶)、Tee Choon Hong (2)、Teh Chong Yee (鄭忠義) (2)、Teng Kim Yin (鄧錦雲)、Teo Bee Hong (張美宏)、Teo Boon Lian (張文連)、Teo Chuan Soon (張川順)、Teoh Eng Choo (張映水)、Teo Kian Song、Teo Kwee Swee (張貴水) (2)、Teo Tiam Hwa (張添華)、Teoh Eng See (張映絲)、Tey Khern (鄭勤)、Tey Kian Teong (鄭建忠)、Tham Kok Who、Thye Meng Yu (鄭茗友)、Tiang Chuan Seong (鄭俊雄)、Toh Leong Chee (卓良志)、Toh Peng (杜平)、Wong Chao Hsiung、Wong Chee Ken (黃啓耕)、Wong Chin Shiuan (黃晋軒) (2)、Wong Choon Leng、Wong Fee Ping (黃慧萍)、Wong Jiunn Shyong、Wong Ka Seng (王家成)、Wong Kok Hoi、Wong Kuok Hung (黃國鳳)、Wong Seng Keng (黃成耕) (2)、Wong Sheong Chin (黃錦進)、Wong Tzong Chyang (黃宗強) (2)、YB Liang Teck Meng (梁德明)、Yeung King Hong、Yew Kuen Ying (姚群英)、Yew Siew Leong (姚瑞良)、Yong Chin Chew (楊清洲)、Yap Geng Yi (叶耿瑜)、Yong Hwee Yan、Yap Shin Woei (葉信偉)、Yew Siew Leong (姚瑞良)、Yong Cheng Yun (楊青雲)、Yong Hon Wee (楊漢威)、Yong Kian Teck (楊建德)、Yong Kok Lin (楊国霖)

坂東慶彦、藤田陽一、深民崇夫、石原政一、伊藤要、稻田幸司、越場直樹、五条章二、河野修、小松電機産業(株)代表取締役小松昭夫、水田康広、水野伸明、森下治幸、大須賀稔晴、貞包物産(株)、柴田保、下村安秋、白石和也、SKK Kaken (M) Sdn Bhd、田中公治、塚本秀幸、山内一弘、山川勇人、山縣みさ、山根行弘

<ミャンマー> Aung Kyaw

<パキスタン> A. R. Siddiqi (在日)

<ペルー> Olga Shimada Keiko

<シンガポール> Foo Choo Wei (在日)、Foo Yong Tse、顔尚強、王堯其、Tan Choon Shian、Wong Meng Quang

<台湾> Chen Ai Chi (艾圻)、張忠信 (在日)、林丕繼、林登居・斎藤ヒサ子 (在日)、Liu Li Mei、堤井信力 (在日)、廖婉淑、陳俊銘 (在日)

<タイ> 浅見博子 (在タイ)、Bandihit Rojarayanont、Chamlong Srimuang、Chanintorn Mekaratana、Chovet Yimsirikul、Ditdi Chatputtongul、Gannigar Koontanakulvong (2)、

Itti Rittaporn、神崎ソラダ（在日）、Kornkeo Praisontarangkul、Kraisorn Throngnymchai（在日）、Krisada Visavateeranon、Meena Thamchaipenet、Mongkol Pianapitham、Navarat Srisuponvanit、Ngampho Pattrawut、Niramai Thanatavee、小野崎忠士（在タイ）、Patamavadee(Bongsayan)Narushiso、Phiphat Chaichanavichakij、Pilaipan Mekaratana(2)、Pisan Thanatavee、Pholchai Limviphuvadh、Pornanong Niyomka H.、Prayad Kongkasawad、Prayoon Shiowatana、Sathida Mekaratana、Saowanee Patrakarn、新宅光（在タイ）、Sivaporn Sirilatthayakorn、Sucharit Koontanakulvong（2）、Suchittra Hunbuncharkit(2)、Supong Chayutsahakij、Suthee Chutchaiwett、Suvit Vibulsresth、泰日経済技術振興協会 [Technology Promotion Association (Thailand-Japan)]、泰日工業大学 (Thai-Nichi Institute of Technology)、Tana Tangtrongsakdi、Vachiranee Limviphuvadh、Vachiraporn Limviphuvadh、Virat Thiravathanavong、Wannadee O'sorup、Wiwut Tanthapanichakoon、柳瀬修三（在タイ）、Yoshiko Limviphuvadh

<ベトナム> Dao Thi Minh（在日）、ドンズー日本語学校、Le Quynh Chi（在日）、Nguyen An Trung、Tai Anh Tien（在日）、To Buu Luong（在日）、Tran Thanh Viet（在日）

ABK 同窓生募金に関するメール

2012/6/14 Gary Tang（マレーシア）

Very proud to show our Dr Beh's medical center at Jalan Maarof, Bangsar, today I have done my scanning n Dr Beh gave a big discount due to ABK dosokai donation campaign, Sankyu!! One of the best in town, so better take this opportunity to do your scanning!! I belonged to the High Risk group, so u better do now!!!（同窓会 facebook より）



Dr.Beh のクリニック

2012/6/22 Tey Kian Teong（マレーシア；在シンガポール）

Good afternoon. First I like make an apology of my late message to you and Mr. Ogiso, because last few months I am busy to overseas for business trip. Thank you very much for your time on Feaburary' 2012 during my visited ABK. As promised please refer attached photos. I will sent those photos to your by 4 emails due of big size of photos. I am glad to hear Mr. Ogiso have good trip at Malaysia and Singapore to



meet ABK students. Hope all of us can keep in touch time by time. Thank you. Best Regards,

2012/6/26 Kenneth Wong (マレーシア； 在シンガポール)

お早うございます。ご無沙汰しております。アジアの友 4-5 月刊を送って頂き、誠にありがとうございます。会館から、日本語コース同窓生の故林さんのお母様から寄付金について、二頁ほどに取り上げて頂き、小生にとっては、感謝の気持ち一杯です。既にお母さんの方に（カレンさん）転送いたしました。（同じページ日本語先生達の写真も懐かしく思っております）こちらの日中気温は毎日 35 度は越え、雨はこの二週間程も降らなかったことで、暑い毎日です。夜になると、エアーコンなしで眠られない夜も何日くらいは有ったんです。（因みに昨日の最高気温は 36 度だったです）日本は如何でしょうか？梅雨の季節もそろそろ終わりでしょうか？夏の季節に入るのでしょうか？同窓生募金は 4-5 月の月刊でのお知らせで分かるように後 1 千万円切りましたね。きっと、お二人様も募金にまたまた、力を入れ、東奔西走の様子を小生頭中に想像することは出来ます。さて、知られていた YAP MEN FATT 大先輩の寄付金と、それに加えて、新しくマレーシアの二人同窓生、MR. PUAH CHIN CHYE (潘進財) 及び MR. LIAU KOK WEE (廖國威) の分を合わせ、今週中に ABK へ送金致します。5 千万円の目標値を早めに達成すよう心よりお祈りします。小生もこちらで、また何らかの形で貢献に出来たら、挑戦をしますように頑張ります。皆さんも夢を棄てずに祝杯を挙げるまでは頑張らしましょう。

以上、宜しく願います。Thanks and Best Regards,

2012/6/26 Foo Hee Hiang (マレーシア)

先日 Alvin Ng さんがマレーシアに帰国した時に、Gary Tang、Teh Chong Yee、Ng Chin Keong 達と会談しました。若い同窓生への呼び掛けをお願いしました。何か動きが出ていますか？取り敢えず今のところでは、マレーシア側は何も出来ない状態になっています。何かアイデアが現れたらまた動き出したいと思います。取り急ぎで連絡します。

2012/7/3 Foo Hee Hiang (マレーシア)

Kenneth さん ご苦労様です。頭書の件に關しては了解しました。シートに更新しておきます。今年度いっぱいまで残りの募金をどうやって達成するか、よく考えなければなりません。基本的には、一人付き多く協力を得るのではなく、将来のためにならないかも知れませんが、人数多く参加してもらった方がよいと考えられます。今年いっぱいまで FB に情報を流すことしか出来ないと思います。

2012/7/9 Tee Kian Heng (マレーシア；留 学/在日)

Tee Kian Meng は私の兄で、出身はマレーシアです。兄は ABK の出身ではなく、当時一緒に日本に留学した友人が ABK の出身が多く、寄付の案内があったとのこと。礼状に関して、私宛てに送っていただければ、マレーシアへ一時帰国するときに兄に渡します。

関正昭 (日本)

新校舎建設募金に、僅少ですが。

2012/7/20 Foo Hee Hiang (マレーシア)
YIP K M 様 お早ございます。ABK 小木
曾理事長様からのメールを利用させて頂きま
すが、宜しくご了承願います。私は ABK から身
元保証を受けて 1983 年に日本に留学をしたマ
レーシアの Foo と申します。留学の期間に ABK
からいろいろな教育、協力及び助け等を頂きまし
た。また、こちらは Ng kim Chai 大先輩、Ang
Khoon Chye 大先輩はじめ、全員で 11 名の同
窓生から作った「ABK 同窓生募金」マレーシア
発起人グループであります。このメールの目的
は、貴メールアドレスの有効性を確認するため
にあります。序に「アジアの友」を送付させて頂
きたと思います。また、理事長様からのお願いに
ありました学校法人に切り替える計画に必要とし
た五千万円の運営資金のための「同窓生募金」に
ご協力を頂きたく宜しくお願いします。締め切り
は来年3月までですが、必要とした運営資金は現
在において同窓生の皆様から 4,300 万円のご協
力を頂いています。目標値までに辿り着くのは後
約 700 万円になっています。これから日本へ留
学にいく予定の後輩達のためにも、今までご協
力を下さった ABK への「恩返」としても、是非貴
方からのご協力を期待しています。また、かなり
の人数の同窓生とは連絡が取れなく、募金の進捗
が行き詰まりになっていることが現状にありま
す。ここに、貴方にもご存知の同窓生にこの情報
を伝えて頂けるよう、宜しくご協力も願いたく思
います。もし、Facebook の口座をお持ちなら
ば、「ABK 同窓会」FB にもご参加するようにお
願いします。この FB にて出来るだけ様々な情報
を提供させて頂きたいと考えています。また、ご
存知の友達もこの FB に誘って下さる様に宜し
く宜しくお願いします。ご面識もなく無理なお願いを
して誠に失礼と思いながらこのメールを送らせて頂

きますが、昔に親切にして下さった ABK が今「恩
返」のチャンスを作って下さっていますので、是
非これを利用して皆様の力で ABK へ恩を返しな
がら、将来の後輩達のためにももっと良い学校の
作りにご協力を下さい。FOO HEE HIANG

ABK 日本語コース卒業生の皆様へ

「ABK 同窓生募金」のお願い（目標5千万円
達成のために）

ABK 日本語コース卒業生の皆様、お元気で
すか。

さて、ABK 関係者の皆様には、かねてご協
力をいただいてまいりました、新しい ABK
日本語学校新校舎建設のための「ABK 同窓
生募金」につきましては、タイ、マレーシア、
中国、ブラジル、日本などをはじめ世界 20
か国・地域の同窓生の皆さまの多大なご協
力をいただき、寄付金総額は、今年 6 月 30 日
現在、約 4300 万円に達しました。この中
でマレーシアからのご寄付は、約 1200 万
円で、ABK 在館生、ABK 日本語コース卒業
生、ABK 在留保証人留学生、ABK 奨学金受
給者などの皆様約 300 人から寄せられたも
のです。このうち、ABK 日本語コース卒業
生は約 100 人です。1983 年に開設した日
本語コース卒業生は、すでに 7000 人を超え、
マレーシアだけでも約 1300 人に達してい
ますが、残念ながら寄付をいただけた方がま
だ 100 人程度に留まっているのは、私たち
の努力が足りず、募金の趣旨がよく伝わっ
ていないためであると考えます。

今度の募金運動の成果は、マレーシア在

住の先輩である Ng Kim Chai さん、Ang Khoon Chye さん、Foo Hee Hiang さん、およびシンガポール在住の Kenneth Wong さんなど多くの先輩方が全面的に協力して下さり、広くアジアで活躍する ABK 同窓生はじめ元日本留学生たちに募金への協力を呼び掛けてくださったおかげです。

●マレーシアの ABK 日本語コース卒業生の皆様、5000 万円の最終目標達成のため、《1 人 1 万円》の同窓生募金にぜひご協力ください。寄付下さった方々は、金額の多寡にかかわらず、お名前を記念銘板に刻印し新校舎に掲げて長く保存させていただきます。

日本人とアジアの人々が「一燈やがて万燈となるごとく」友好関係を深め、戦争のない平和な世界の未来をつくるために、今後も ABK (アジア文化会館) の役割は決して小さくないものと信じております。穂積五一先生によって創立され 50 年の風雪に耐えてきた ABK が、装いを新たに、また次の 50 年間、その使命を果たすための第一歩として、同窓生募金にぜひご支援を賜りますよう、衷心よりお願い申し上げます。

●【ご送金の方法】ご寄付の送金方法は、添付ファイル 1)、2)、3) のいずれでもかまいません。一番便利な方法をお願いします。敬具

2012 年 7 月

財団法人アジア学生文化協会
理事長 小木曾 友

2012/7/21 Foo HeeHiang (マレーシア)
一遅くまでご苦勞様です。小木曾さんからの呼び掛けには、私として小木曾さんには申し訳ないと思っています。いくら何でも小木曾さんをそままでさせることに對して同窓生としては情けないと思っています。今回は小木曾さんからの二回目のメール發送だと思いますが、あんまりにも皆が冷たいと感じています。今小木曾さんが發送したメールから有効なメールアドレスを拾っていますので、こちらでフォローアップしてみます。ABK の皆様及び日本人としてあまり言えないことは、私には関係なく言えますし、言っても私には影響がないので、取り敢えず追いかけてみます。どうしてもうまくいかなかったら、今まで協力してくれた連中に年末に再度呼びかけるかも知れません。最終的に達成が出来なくても出来るだけ目標値に近付けたいと思います。
一こんにちは。今日台湾で行われている展示会の写真を facebook でみました。それをみて、ABK として本格的にこのような "営業活動" をもっと行えばよいではないかと思いました。万物流転というか、やっぱり国々によって日本留学時期というか、ブームというかあると思います。それを分析して営業活動を行なった方がよいでしょうと思います。例えば、マレーシア政府が実施しようとしている Look East 政策に対して、日本側で文部省とか等のところに売り込みに行ってみるとか、試してみるメリットはあるでしょうと思います。また、政府の政策について私費留学生の人数も増えてくることが予測されますので、マレーシアにて展示会とか、学校とか、セミナーを開いたりすることも、学生の人数を増やすことが可能でしょうと考えられます。一つ思い付きのことですが、どうかご検討願います。

2012/7/23ABK 同窓会 facebook より
マレーシア・ジョホールバルで第4回四木会開催



集まった懐かしい顔、顔、顔

2012/8/24ABK 同窓会 facebook より
マレーシア・ジョホールバルでの第5回四木会
開催（Foo さん欠席の為、コーディネーターは
Lee Mow Tiam さんが）



楽しそう！！

2012/7/28 Foo Hee Hiang（マレーシア）

ABK 同窓生募金にご協力の皆様 お早うございます、同窓生募金にご協力有難うございます。今月末に皆様から預けておりました募金を ABK へ送金する予定になっておりますので、後日に ABK から直接皆様へメールにて領収書を送付することになります。また、皆様がもし Facebook の口座をお持ちならば、「ABK 同窓会」Facebook にもご参加して頂ければ、いろいろな情報をこの FB に提供したいと考えていますので、宜しくお願いします。もし、ご存知の同窓生がいらっしゃいましたら、上記の FB にも誘って参加して頂けるように宜しくお願いします。

2012/8/1 Lim Chin Ee（マレーシア）

Thanks for your fast respond. Cheah S L is the former trainee in Japan Softnet. I had requested to JAGAM northern branch chairman for the donation's help, also to ABK/AOTS Dosokai for the help, but no response yet. Please wait for a while, I will try again to get them help into this issue.

2012/8/2 Cheah Soo Lin（マレーシア）

I am honored to receive your following mail. It has been a long, long time since our last meeting in Japan. Although there were a few occasions I returned to Japan in the past, I regret there were never any opportunity for me to visit you in ABK due to tight working schedules. Sorry ! Time has really past so fast that it has been almost more than 30 years since my last stay in ABK. I' m glad to hear of ABK' s plan to embark on a new phase of development. Compared to

others, my contribution is worth nothing. Nevertheless, it works marvel by binding us together again ! With your following letter, it rekindles my fond memory of how caring you were in helping foreigners like me and my sister adapting to the life in Japan. Thank You !

2012/8/3 齊木史 (日本)

ABK 同窓生ではありませんが、趣旨に賛同し募金します。

2012/8/24 Foo Hee Hiang (マレーシア)

小木曾理事長殿 お早うございます。ご連絡有難うございます。理事長からのメールの効果だと思いますが、偶には在馬の卒業生から募金に関する問い合わせがありました。マレーシア政府が二回目の日本に学ぼうという政策を発表する際に、マレーシアの学生達が再度日本へ留学するブームを起こせることを期待しましょう。80年代の時に、NgさんやAngさんの様な先輩がいて、自分の高校(中国系私立高校)に戻って日本への留学補導をして下さってかなりの人数の後輩達を助けました。今回の「日本に学ぼう」政策にも、同じく私費留学生へ刺激を与えてくれると思います。それに合わせてABKが主催で先輩達の力を借りてこれらの私立高校への説明会を開くことが新規学生の誘致が出来ると考えられます。

2012/8/26 Lim Chin Kok (マレーシア)

Foo様、Ang様 送金方法説明の送付が有難うございます。振込みレシートを添付いたしますのでご確認お願いいたします。日本に留学時にはABKにいろいろお世話になり、今でも心から感謝しています。宜しく願いいたします。

2012/8/29 Soo Ka Jin (マレーシア)

町田先生 お久しぶりです、先生はお元気ですか？今回メールを出させて頂いたのは、募金活動についてですが、スタート時点で、自分が動けませんでした、本当に申し訳ありませんでした。募金活動の最近の状況を知りたいのですが、5千万の目標に4千数百万が達成されたのを知りましたが、あと一歩の状態ですか？何れにしても、微力ながら協力させて頂きます。先生も働き過ぎないように、体に気を付けて下さい。

ABK 同窓会 facebook から

< <http://www.facebook.com/groups/247397165340902/permalink/356579657755985/> >

マレーシアのFoo Hee Hiangさんが「内観録」、「アジア文化会館と穂積五一」の中から、facebookで少しずつ紹介しています。いか、一部ご紹介いたします。

2012/7/5

小木曾理事長様から穂積先生に関する本を頂き、今ゆっくり読ませて頂いています。我々80年代の学生でも、いまだABKの歴史をよく知らない人が多いと思います。第一回目のLook East Policyに於いてこんだけの人数の私費生が日本へ留学出来たことに対して、これは先輩達、MSAJだけの努力によるもので、またABKが身元保証をして下さっていることは当たり前前の義務だと考えている人が多いと思います。これから、これらの本に記述していることを抜粋してポストしますので、興味の

ある方々は読んでみて下さい。上記の抜粋は ABK [同窓生] の定義に対してご理解出来る内容だと思います。

『Foo さん、本当にありがとうございます。この本をそんなに熱心に読んでくださる方は、日本には (ABK でさえ) そんなにはいません。—「これから、これらの本に記述していることを抜粋してポストしますので、興味のある方々は読んでみて下さい。」— そうしてくだされば、日本にいる日本人 (ABK の人々を含めて) も、また若い留学生のみなさんにも、ABK を理解することに大いに役にたつことと思います。どうぞよろしくお願いいたします。』(小木曾 友)

2012/7/6

本を読み終えなければ自信がありませんが、Kim Chai Ng 先輩が言っている「穂積精神」というものが下記の文章に記述しているものでしょう。ABK 学生会館は下宿するだけの寮ではなく、違った国籍、民族の文化交流の場として作られています。留学生と ABK との絆は「新星学寮」から始まり、同窓生募金活動に於いて、60 及び 70 年代の先輩達にお願いすると、お願いする方からみれば、どうして皆さんからこんなに「気持よく」協力を得られたのか、その原因が理解出来ました。先輩達の反応は、中国語で言う「二话不说」、百万円も協力して下さいました。勿論、これは寮だけのことなく、穂積先生はじめ ABK の皆様が留学生のために様々な努力及び苦勞を尽くし、その恩を受けた同時の留学生達が最も体として感じているからと思います。

2012/7/10

小木曾さん、恥ずかしいですが、穂積先生のお名前は今回の募金活動にて始めて Ng Kim

Chai, Ang Khonn Chye 先輩から聞きました。お二人の先輩が ABK のためにあんなに積極的に協力する姿勢をみて、この本を読ませて頂くまでには、一人はマレーシア留学生と ABK との縁引き、一人はそれを更に展開していた関連があったからだと思いましたが、本を読みながら、先輩達の気持が読める様になってきました。折角小木曾さんから本を頂きましたので、自分で読みながら、興味のある方々にも読んで頂ければと思っています。

『ありがとうございます。穂積先生は 1981 年に 79 歳で亡くなりましたが、Foo さんのことを知っていれば、きっと肝胆相照らす同志になっておられたと思います。こんどの募金運動でも、穂積先生が天から采配を振って、私たちを結びつけてくださったのだと思います。私は 21 歳、大学 3 年生のときに穂積先生に会い、新星学寮に入ったのが縁で、それから今日まで 56 年間、ABK から離れられずにいるわけです。』(小木曾 友)

2012/7/24

ABK が協力したベトナム留学生ブータットタン事件 (その 1/2、2/2): 穂積五一先生はじめ、ABK、新星学寮の皆様が、60 年代から日本に留学した学生達を民間の自発グループとしていろいろな協力をしてきました。先生は「人ひとりの生命が危険にさらされる時、何をおいてもそれを守る」という「人命尊敬」、更にあたら若き人材を無為に葬るのではなく、積極的に社会に出して活躍してもらおうとの精神を持って、戦前の至軒寮から戦後の新星学寮・アジア学生文化協会 (ABK) まで 50 年間を続けてきました。

|||||

1990年度のABK日本語学校の林間学校集合写真



ABK 同窓会 Facebook に投稿された写真（福島国立青年の家：3泊4日）を見て名乗りでた同窓生たちのコメントを紹介します。

- ・ **Low Ah Kia** : 日本語コース卒業生名簿と照らし合わせて 90 年度生のリストをつくろうと思っていますが、とりあえず生（写真）データです。
- ・ **Nevin Hiong** : WOW! I AM INSIDE!
- ・ **Nevin Hiong** : THANK YOU SO MUCH FOR POSTING THIS PICTURE!!!GREAT!
- ・ **フィアン ヨン** : I am not inside!
- ・ **May Sato** : Hello! Hisashiburi! Do you still remember 2 sisters? I am the elder one named Siew May n my younger sister is Siew Yean. Sorry my facebook name is different bcos my high school friend could find me! Keep in touch. I am in Japan now as a permanet resident.
- ・ **Kah Peng Koo** : Why got this photo?? Surprise ler
- ・ **Nevin Hiong** : hi siew may! than where is your younger sister?
- ・ **Eddie Soo** : 哈！我终于找到我在哪里咯！ ^,^（自分がどこにいるかやっとわかった！）
- ・ **Francis SK** : nice memory in Japan, all the best to ABK friends,
- ・ **May Sato** : She is now living in Singapore with her husband.Please put in your photo lah...

- ・ **Eddie Soo** : 还有谁, 有 ABK 的生活照片呢? (あと誰か ABK の生活がわかる写真ありませんか?)。。。。memory in Japan !
- ・ **Kah Peng Koo** : Hi sato san! Siew Yean contact no pls!
- ・ **Soh Shiok** : Hooi wah.... thank you to post this photo....
- ・ **Vince Poh** : Fong Wong am i inside?
- ・ **Tom Shim** : 我在那里? (私はそこにいる?)
- ・ **Kah Peng Koo** : 红色衣戴帽者 (赤い服の帽子かぶっている人)
- ・ **Tom Shim** : 看到了! 谢谢許家平先生! (見つけた! ありがとう許家平さん!)
- ・ **Tom Shim** : 是不是我们 ABK 同窗同学, 90 年, 在那里旅游的照片? 我忘记了! (私たちは ABK90 年の同じクラスの同級生? そこに旅行の写真がありますか? 忘れてた!)
- ・ **Low Ah Kia** : 学校の林間学校, 場所は福島県常盤青年の家
- ・ **小木曾 友** : この写真、一番前列の真ん中にあるのボクみたいですが、いつ、どこで撮った写真ですか。後ろの大きい建物どこ?
- ・ **小木曾 友** : ああ、わかりました。福島常盤青年の家ですね。すぐ上に Low さんが書いていました。懐かしいですね。このころはボクも若くて元気だったから、毎年参加してました。3泊4日、4日目などはもうクタクタでしたが、とても楽しかったですね。
- ・ **小木曾 友** : Tom Shim さんの中国語、90 年の同級生という意味ですか。
- ・ **小木曾 友** : Low さん、この写真に載っている人全員の Full Name と Mail Address の List ができますか。もしつくっていただけると大変ありがたいのですが。
- ・ **Low Ah Kia** : 写真の中に載っている方、実は私も数人しか知らないですよ、全員はとても無理ですね。自分は写真の中にいれば、教えてくれれば一番ありがたいですが。卒業してから、もう何年も連絡を取っていないので、今から、写真の中にいる自分の場所と名前は教えていただかないと 皆さんの印象は私にとって写真の時のまま、つまり ABK にいった時の印象しか残っていません。
- ・ **小木曾 友** : わかりました。ABK にはこの時の参加者の名簿はあると思いますので、少なくともお名前だけは確認することはできると思います。ぼつぼつ始めることにします。
- ・ **Eng See Teoh** : May Sato の隣は私でした。Teoh Eng See (張映絲) です。本当にとても懐かしいですね。写真をアップして頂いて、有り難うございます。1999 年にマレーシア・ペナンに戻ってきました。ペナンにいらっしゃる時に連絡してね。
- ・ **Low Ah Kia** : 刘文勇认识嗎? (刘文勇知ってますか?)
- ・ **Low Ah Kia** : 她是ペナン人 (彼女はペナン人です)
- ・ **May Sato** : Teoh! 見つけ! お元気ですか? ペナンに戻ったですね。私は今、日本に永住していますが、主人が定年後、多分夫婦でマレーシアに戻る予定です。ペナンの料理を食いたいなあ〜日本に来たら、連絡を下さいね。Keep in touch! 刘文勇さんは皆探しているみたいね。ペナンにいないのかな??

ご入会とご寄付のお願い

当協会は、政府の補助金を受けていない純民間運営の公益法人ですので、財源に限りがあり、皆様方からお送りいただく会費、寄付金は、本協会の活動を支える貴重な財源となっています。何卒ご理解、ご協力をお願い致します。

協会のあらまし

名 称：財団法人アジア学生文化協会

ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASCA)

所在地：東京都文京区本駒込2丁目12番地13号

代表者：理事長 小木曾 友

設 立：1957年（昭和32年）9月18日
故穂積五一氏創設

目 的：日本とアジア諸国の青年学生が共同生活を通じて、人間的相和と学術、文化および経済の交流をはかることにより、アジアの親善と世界の平和に貢献することを目的とする。

◆主な事業◆

- (1) 留学生宿舍の運営
- (2) 留学生日本語コースの運営（進学希望者向けの日本語を中心とする教育）
- (3) 留学生に対する情報提供支援
- (4) アジア語学セミナー
- (5) 帰国留学生のアジア文化会館同窓会、(社)日・タイ経済協力協会、ABK留学生友の会との連携・協力

◆会費（年額）◆

正会員 1口 1万円
賛助会員 1口 5万円
特別会員 1口 10万円

会員には広報誌「アジアの友」が無料配布されます。また、広報誌購入だけを希望される方には、購読料年間3千円（学生2千円）でお送りしています。

本誌で広告してみませんか。

団体・企業を問わず、編集部へご相談ください。

後 記

当協会前理事長田井重治氏の「偲ぶ会」が10月14日（日）に開催されます。田井さんは、至軒寮、新星学寮、アジア文化会館と穂積先生とともに歩まれ、たくさんの日本人学生、留学生と寝食を共にされてきました。頼まれごと、相談ごとには常に何の戸惑いもなく応じ全力で当たられておられました。それ故、誰からも慕われ、この度も、自ずと「偲ぶ会」の声が多様な方から上がり開催の運びとなりました。しかし、住所がわからず連絡の取れない方も大勢います。お誘い合わせの上、多くの方に参加いただき、田井さんの思い出を語っていただきたいと思っています。「偲ぶ会」の詳細は、本誌22頁に掲載されています。（F）

毎年ABKの中庭で行ってきた恒例の盆踊りが、昨年は東日本大震災後の自粛で中止となり、今年は、長年踊りを指導して下さった近隣の婦人会の方々が高齢となったこと、夜の騒音問題にされ近隣から苦情が出ることで中止となった。しかし、盆踊り大会も東京では処々で開かれ参加する機会も増えている。そこで情報があれば学生も積極的に参加するのではと。それは、近年、自分で浴衣を購入し、花火大会に出かけたりする留学生もけっこういることからわかる。浴衣はカラフルになり、浴衣を着るのは年若き留学生の楽しみでもあり、日本文化を身を持って体験できるお手ごろの機会でもあり人気が高い。浴衣を見つけた学生はピカピカだ。国境もなくなる。撮影にも余念がない。日本での楽しい思い出のワンショットとなる。表紙の浴衣姿のかわいらしい女性たちは、山吹寮のある荒川区から当財団にご招待があった「外国人の為の着付け教室&盆踊り」に参加した、5～6カ国のABKの学生たちだ。（F）

アジアの友 2012年 8 - 9 月号

2012年 8月 20日発行（通刊第498号）

年間購読（送料共）3,000円（学生2,000円） 1部 500円（税込）

発行人 小木曾 友
編集 アジアの友編集部
発行所 財団法人 アジア学生文化協会
東京都文京区本駒込2-12-13 (☎113-8642)
電話番号：03-3946-4121 ファクシミリ：03-3946-7599
振替口座：00150-0-56754 E-mail：tomo@abk.or.jp
ホームページ：(http://www.abk.or.jp/)

published by ASIAN STUDENTS CULTURAL ASSOCIATION
(ASIA BUNKA KAIKAN)
2-12-13, Honkomagome, Bunkyo-ku, Tokyo, 113-8642, JAPAN
☎+81-3-3946-4121 ☎+81-3-3946-7599
Email：tomo@abk.or.jp
Home Page：http://www.abk.or.jp/

「アジアの友」の購読会員（年3,000円・学生2,000）にご入会下さい。振替用紙又は電話等にて。

「ABK 同窓生募金」へのご協力をお願い

(財) アジア学生文化協会では、現在、下記の通り、「ABK 同窓生募金」を行っています。おかげさまで、沢山の同窓生、関係者のご協力を賜り 2012 年 3 月末までに約 4,000 万円の募金を集めることができました。目標の 5,000 万円まであと一息です。募金期間を一年延長し、今後は、より多くの方々へ募金に関する情報を伝え、まだご協力をいただいていない沢山の同窓生、関係者にご賛同とご支援をいただき実現してゆく所存です。よろしく願いいたします。なお、この度の「ABK 同窓生募金」への寄付者のお名前は、金額の多寡にかかわらず新校舎に掲げる銘板に刻印し、長く保存させていただく予定です。世界的な不況の折、真に心苦しい限りですが、何卒、ご理解とご協力をくださいますようお願い申し上げます。

財団法人アジア学生文化協会 (ASCA)
理事長 小木曾 友

募金内容

1. 名 称	同窓生募金								
2. 目標額	50,000,000 円 (伍千万円也)								
3. 寄付金額	一口 10,000 円 <一口未満でもお受けします。但し、一口未満の時は 1000 円以上でお願いします>								
4. 使 途	ABK が設立する学校法人の「運営資金」に当てる (注) (注) 学校設立には、校舎建設資金 (約 5 億円) のほかに、教育の健全性を保証するために「運営資金」 (約 5,000 万円) を所有することが必要です。募金はそのためのものとします。								
5. 募金対象	ABK と兄弟寮に居住したことのある各国 (在日を含む) 留学生・技術研修生・日本人学生の OB/OG (約 1,000 人)、ABK 日本語コースの卒業生 (約 4,000 人)、及び ASCA の日本人職員・会員等 (約 1,000 人)、並びに本募金趣旨に賛同されるすべての皆様								
6. 期 間	2010 年 4 月 1 日から 2 年間								
7. 送金方法	次の 1)、2)、3) のいずれかの方法で、ご送金下さい。 1) クレジットカード決済による送金 (下記ウェブサイトで手続きできます) 寄付のお申し込み http://www.abk.or.jp/abkd/fund/fund.html *セキュリティ上の必要から、1 回の送金は上限 300,000 円 (参拾万円也) でお願いします。 2) 銀行振込みによる送金 (下記銀行口座にお振り込み下さい) <table border="1"><tr><td>銀 行 名</td><td>みずほ銀行 本郷支店</td></tr><tr><td>口座番号</td><td>普通預金 NO.2789045</td></tr><tr><td>口座名義</td><td>財団法人 アジア学生文化協会</td></tr><tr><td>住 所</td><td>東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121</td></tr></table>	銀 行 名	みずほ銀行 本郷支店	口座番号	普通預金 NO.2789045	口座名義	財団法人 アジア学生文化協会	住 所	東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121
銀 行 名	みずほ銀行 本郷支店								
口座番号	普通預金 NO.2789045								
口座名義	財団法人 アジア学生文化協会								
住 所	東京都文京区本駒込 2-12-13 ☎ 03-3946-4121								
	3) 郵便振替による送金 <table border="1"><tr><td>郵便振替口座</td><td>00150-0-56754</td></tr><tr><td>加入者名</td><td>財団法人 アジア学生文化協会</td></tr></table>	郵便振替口座	00150-0-56754	加入者名	財団法人 アジア学生文化協会				
郵便振替口座	00150-0-56754								
加入者名	財団法人 アジア学生文化協会								

* 振替用紙は「アジアの友」に挟み込まれています

お問合せ先: (財) アジア学生文化協会 50 周年記念事業委員会事務局

〒113-8642 東京都文京区本駒込 2-12-13 アジア文化会館

Tel.+81-3-3946-4121 Fax.+81-3-3946-7566 E-mail: asca50com@abk.or.jp